

あいのほりがわ

流域面積 5.37 km²
 流路延長 4.500 km
 合流河川 新方川
 現況河床勾配 1/1,500
 関係市町村 春日部市

流域および河川の概要

- ・会之堀川は、埼玉県春日部市に源を発し、新方川8.1km 付近の左岸に合流する一級河川である。
- ・会之堀川は、かつては農業用排水路として利用されており、その当時の流域の大部分は水田であったが、その後当流域は首都東京に近い地理的条件により急激に都市化が進み、現在では上中流部の一部に水田を残すのみで、下流部では家屋が密集した状況となっている。
- ・流域は、従来の荒川、利根川の氾濫原であり、地勢勾配が極めて緩く、また、東京都を含む県南地域の地盤沈下現象がこれに加わり、著しく治水安全度が低下しているため、小規模な降雨でも浸水被害が発生し、最近では昭和61年、平成3年、平成5年と連続して水害を被っている。

治水計画

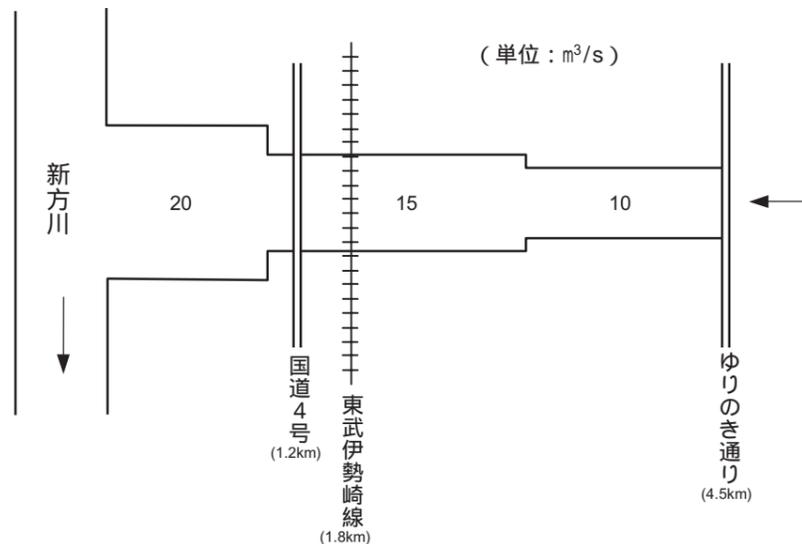
- ・会之堀川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (新方川合流点0.00 km) ~ (会之堀橋下流0.75 km) A



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造とするよう努める。

流量配分図



会之堀川・整備計画概要



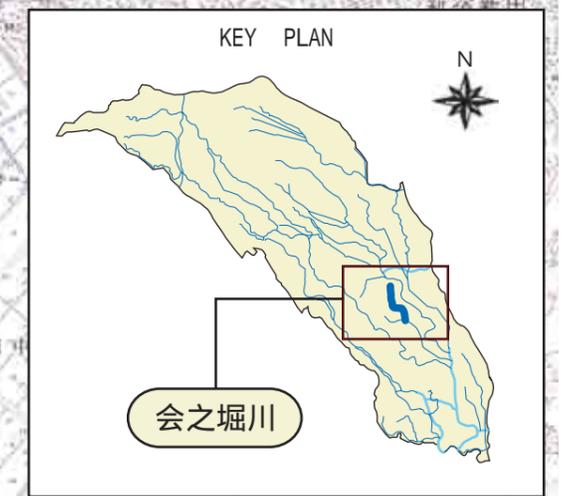
会之堀川1km 付近



会之堀川3km 付近



会之堀川整備平面図
S=1/25,000



3.0km付近



0.5km付近



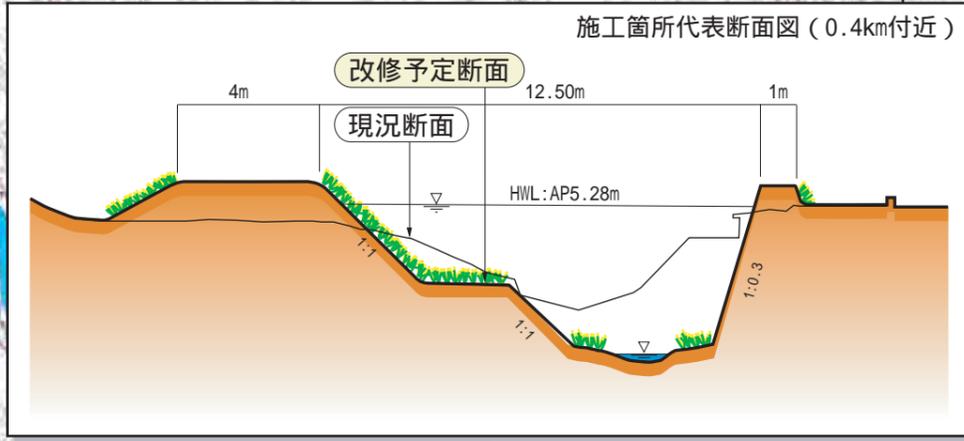
会之堀川

会之堀橋下流 0.75km

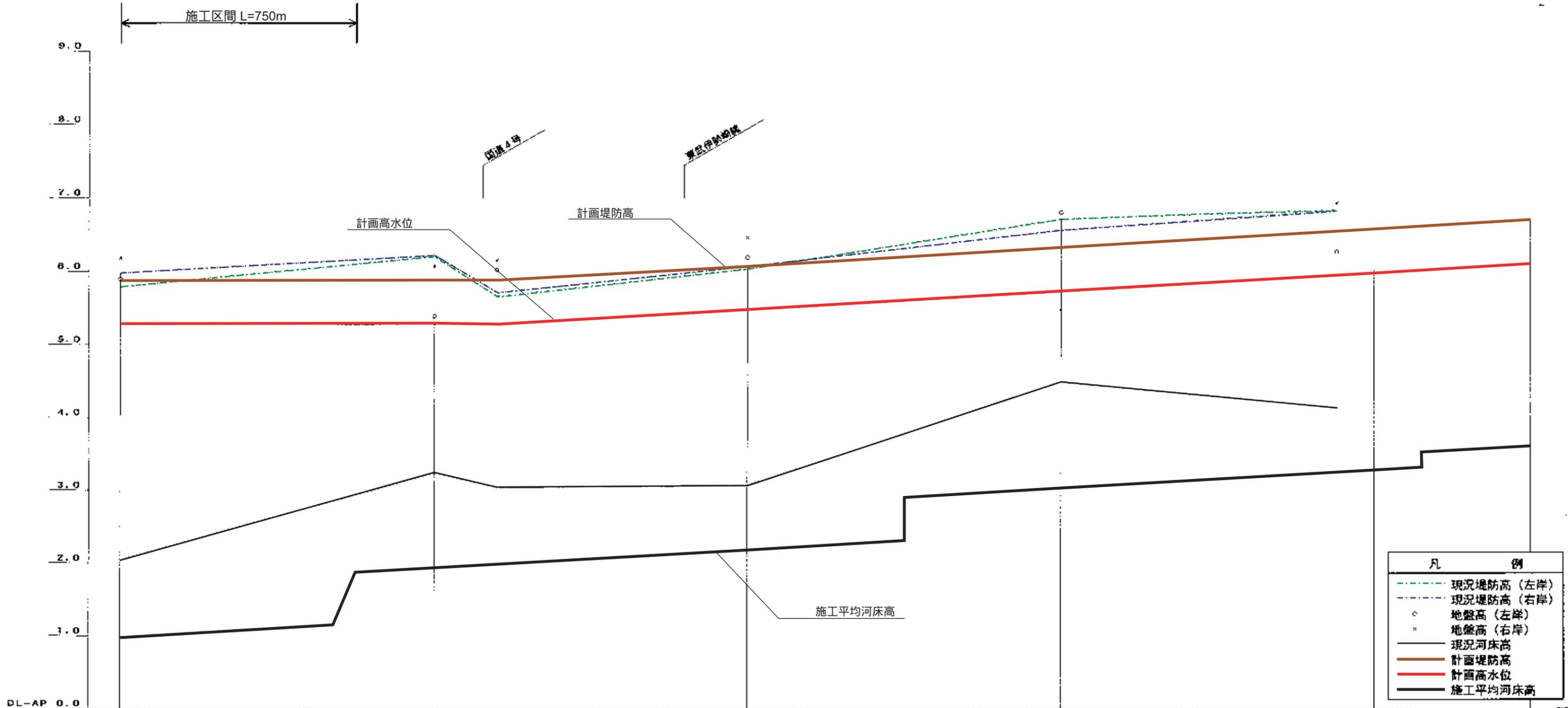
施行区間(L=0.75km)

新方川合流点 0.00km

施工箇所代表断面図(0.4km付近)



会之堀川計画縦断面図



凡 例	
---	現況堤防高 (左岸)
---	現況堤防高 (右岸)
△	地盤高 (左岸)
*	地盤高 (右岸)
—	現況河床高
—	計画堤防高
—	計画高水位
—	施工平均河床高

追加距離	水面勾配		河床勾配		堤防高	高水位	施工平均河床高
	Level	1/4,000	1/4,000	1/100			
0.000k					5.85	5.25	0.95
0.575k							1.15
0.750k							1.87
1.000k					5.85	5.25	1.93
1.200k					5.85	5.25	1.95
2.000k					6.05	5.45	2.15
2.500k					6.21	5.61	2.31 (2.91)
3.000k					6.33	5.73	3.03
4.000k					6.55	5.95	3.28
4.150k					6.52	5.92	3.32 (3.52)
4.500k					6.71	6.11	3.61

おおとしふるとねがわ

流域面積 18 2.28 (36 82) km² 裸書きは支川を含んだ面積、()書きは支川を含まない面積
 流路延長 26.700 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/6,000
 関係市町村 久喜市、鷲宮町、幸手市、杉戸町、宮代町、春日部市、松伏町、越谷市、(加須市、騎西町、菖蒲町、白岡町、蓮田市、岩槻市) ()書きは支川の関係市町村

流域および河川の概要

- ・大落古利根川は、埼玉県加須市にその源を発し、途中青毛堀川、備前前堀川、備前堀川、姫宮落川、隼人堀川、古隅田川を合流し、中川の国の管理区間右岸に合流する一級河川である。
- ・大落古利根川は利根川の旧流路であり、数多くの落し(農業用排水路)が合流するため、延長の割に流域面積が大きいという特徴がある。
- ・河道の大部分は、主に葛西用水の送水路として使われてきたが、最近の社会環境の変化により、工場・家庭用水の流入量が増大し、都市河川の性格を強めてきている。

治水計画

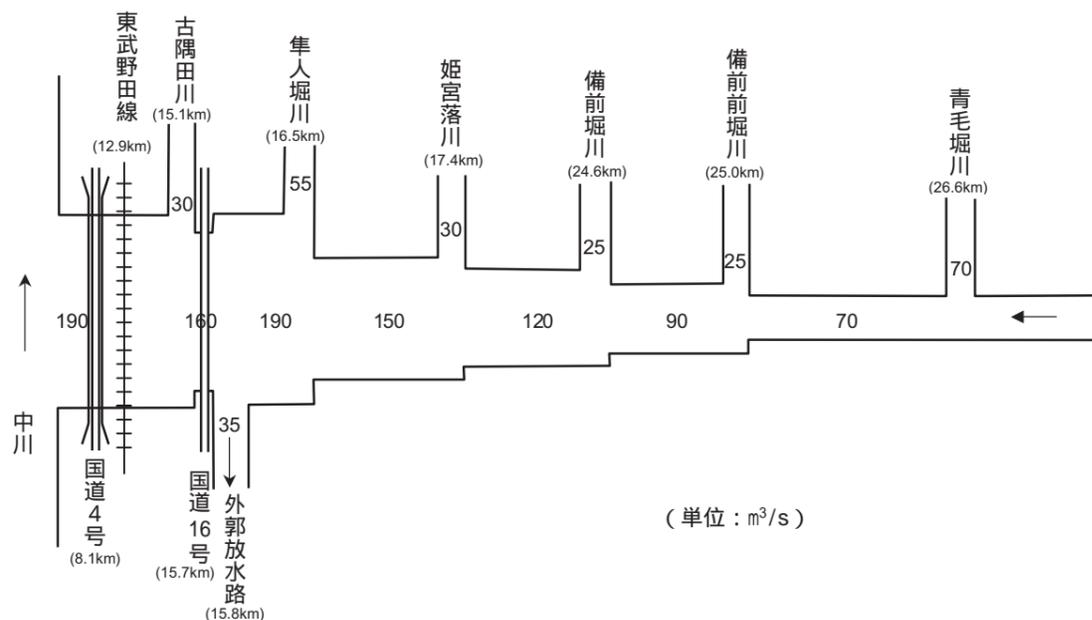
- ・大落古利根川は河積が大きく、比較的現況流下能力があることから、中川合流点～上流端の間で、流下能力が不足する箇所において、整備目標流量を安全に流下させるため、築堤等により、河積の拡大を図る。
- <整備予定区間> (中川合流点0.00 km) ~ (上流端26.80 km) A



整備上の留意点

- ・築堤に伴う護岸整備にあたっては、周辺の景観との調和、動植物の生息・生育環境に配慮し、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・改修にあたっては、動植物相に富んだ河川の特性を生かし、動植物の生息環境及び生育環境に配慮し、多自然護岸など自然にやさしい水辺づくりに努める。また、周辺環境と調和し、良好な自然環境を現状で有している区域については、ワンドなどの整備を含めた、生物の移動回廊としての機能の保全に努める。
- ・大落古利根川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているキタミソウやノウルシの生育がみられる地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



大落古利根川・整備計画概要



大落古利根川6km 付近

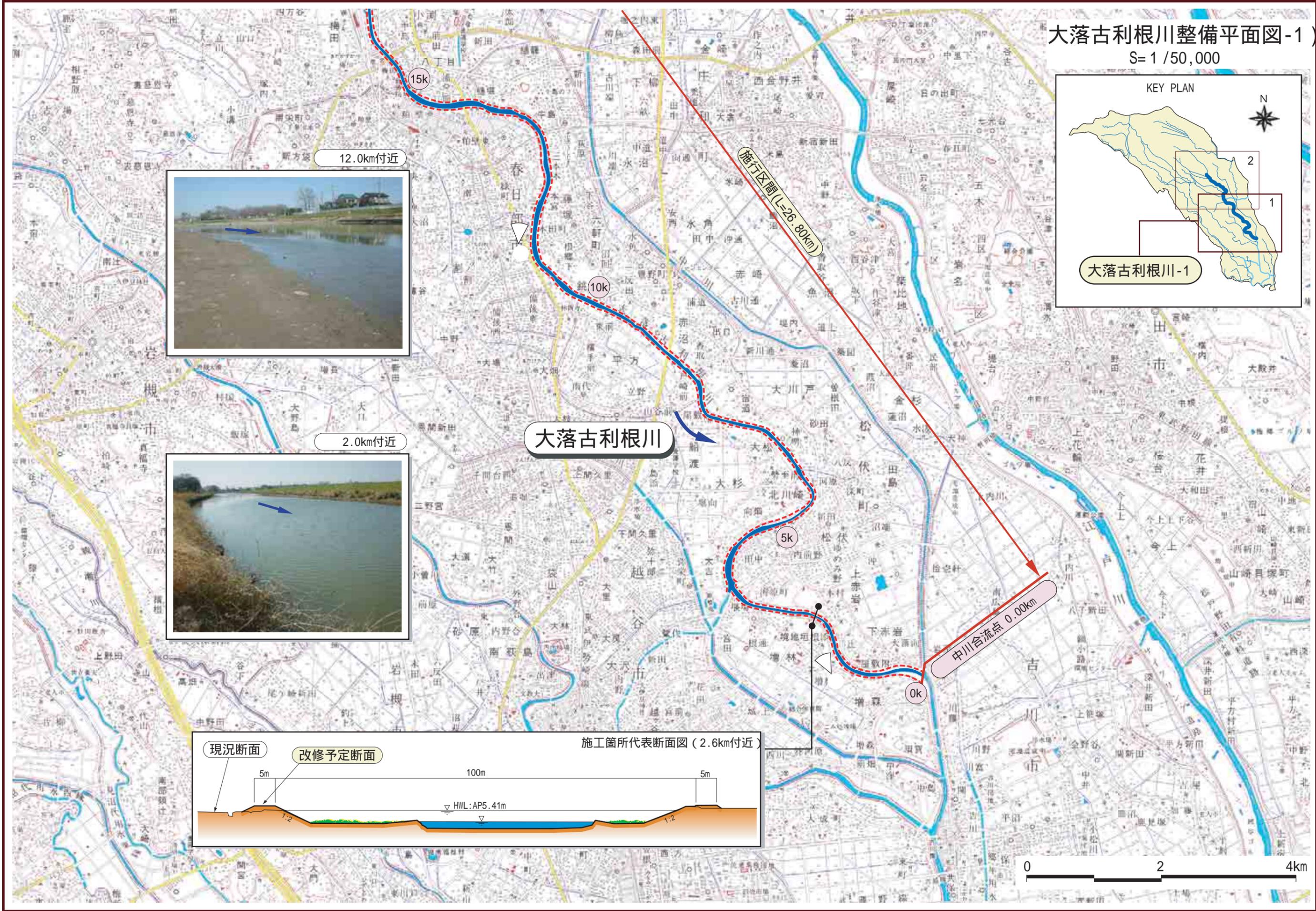
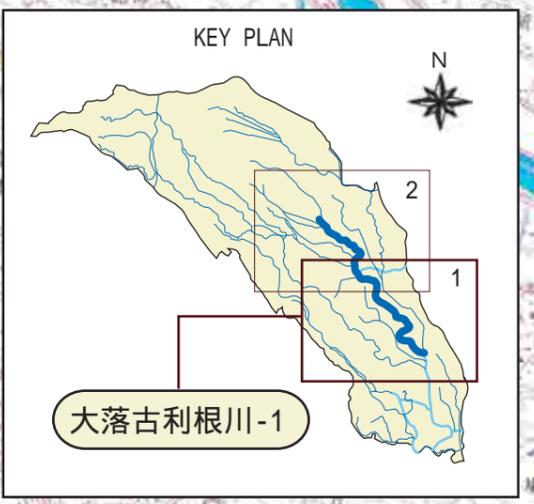


大落古利根川18km 付近



大落古利根川整備平面図-1)

S= 1 / 50,000



大落古利根川

施行区間(L=26.80km)

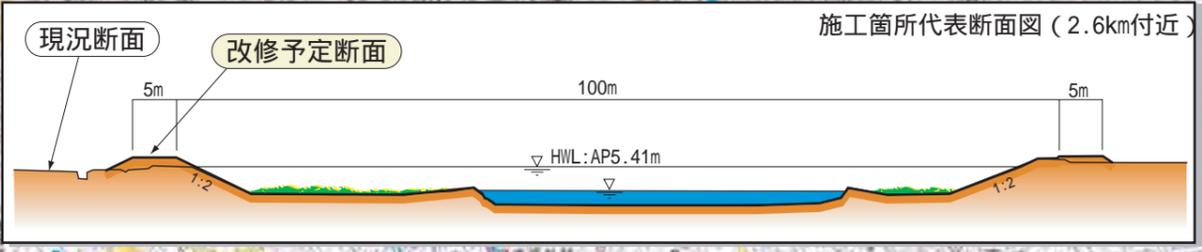
中川合流点 0.00km



12.0km付近



2.0km付近



施工箇所代表断面図 (2.6km付近)

現況断面

改修予定断面

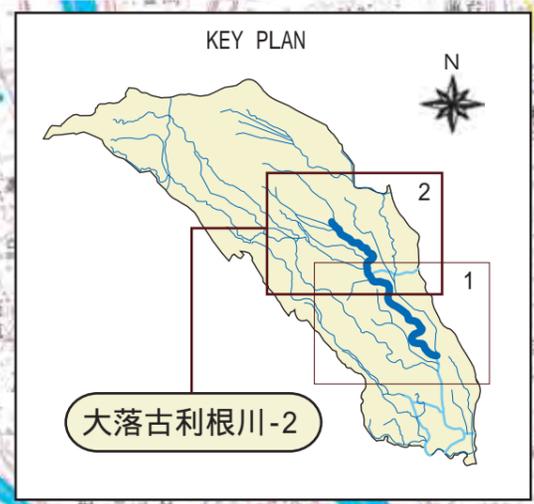
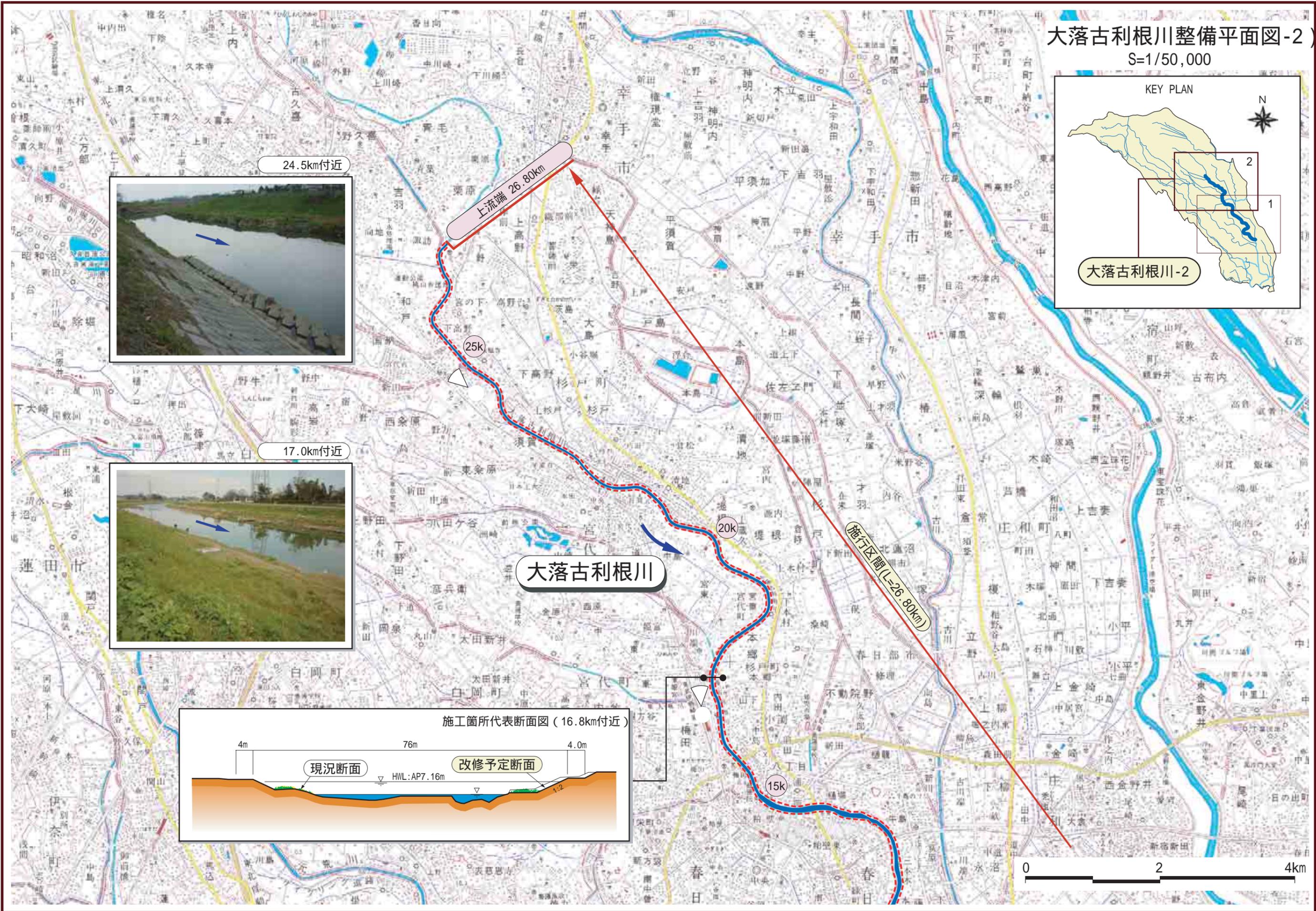
5m

100m

HWL: AP5.41m

1:2

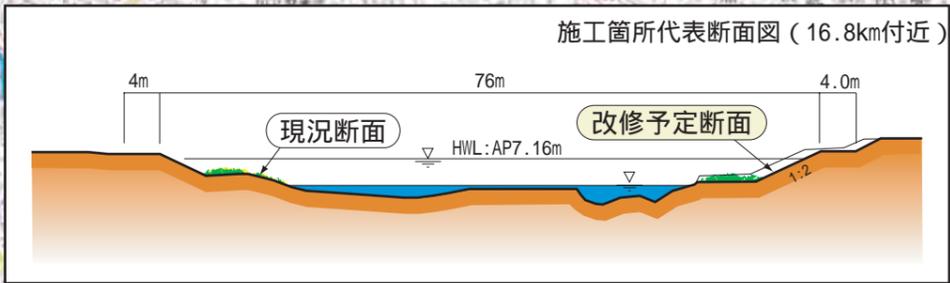
大落古利根川整備平面図-2)
S=1/50,000



24.5km付近



17.0km付近



施工箇所代表断面図 (16.8km付近)

上流端 26.80km

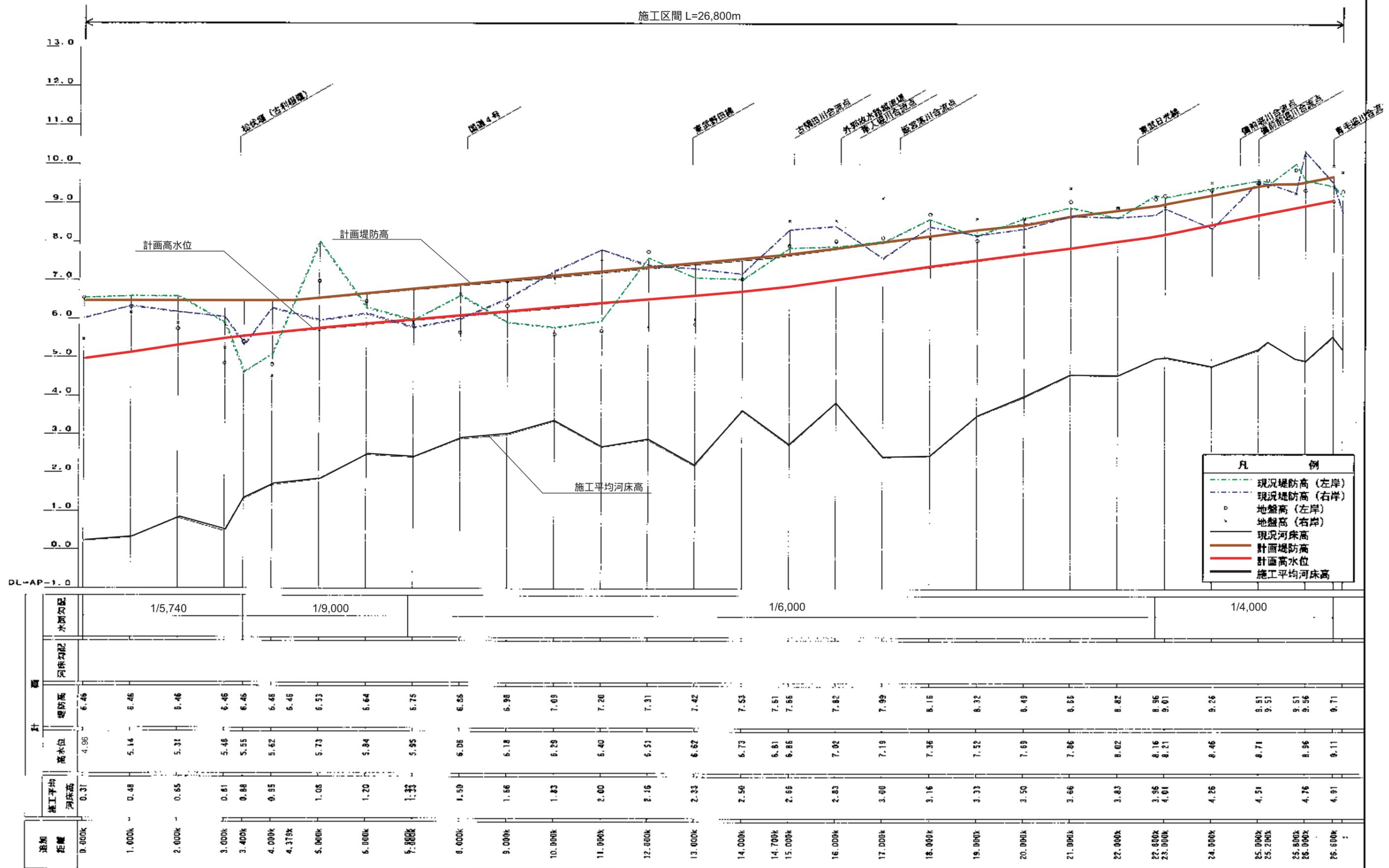
大落古利根川

施行区間 (L=26.80km)

0 2 4km

大落古利根川計画縦断図

施工区間 L=26,800m



ふるすみだがわ

流域面積 14.00 km²
 流路延長 4.800 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/2,500
 関係市町村 白岡町、岩槻市、春日部市

流域および河川の概要

- 古隅田川は、埼玉県岩槻市にその源を發し、途中旧古隅田川、上院落を合流し、大落古利根川15.1 km 付近の右岸に合流する一級河川である。
- 流域は、台地および自然堤防等の比較的地形の高い地域が流域全体の約6割を占めているが、市街化区域は東武鉄道（野田線、伊勢崎線）沿いに広がっており、この地域は氾濫平野が主となっている。

治水計画

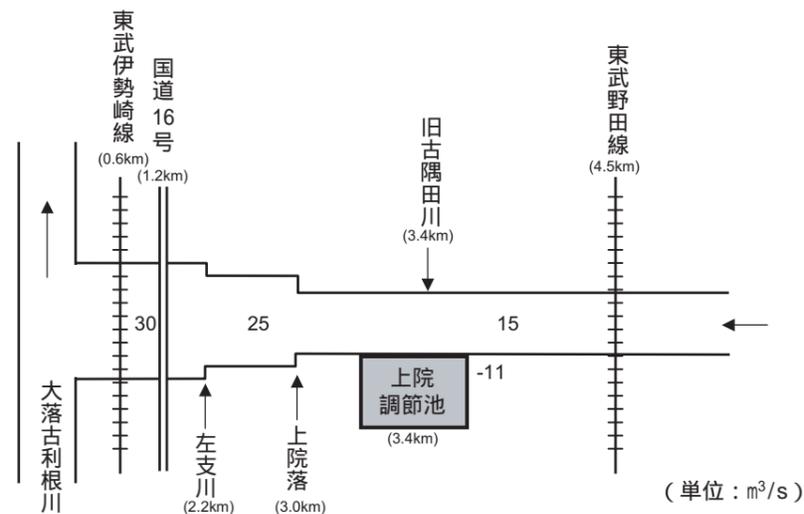
- 古隅田川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間>（大落古利根川合流点0.00 km）～（上流端4.80 km）…………… A
- また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 <整備予定施設>（上院調節池）…………… B



整備上の留意点

- 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- 調節池の整備にあたっては、動植物の生息状況を把握し、必要に応じて現地表土の利用、回避・移植などの対策に努める。

流量配分図



古隅田川・整備計画概要

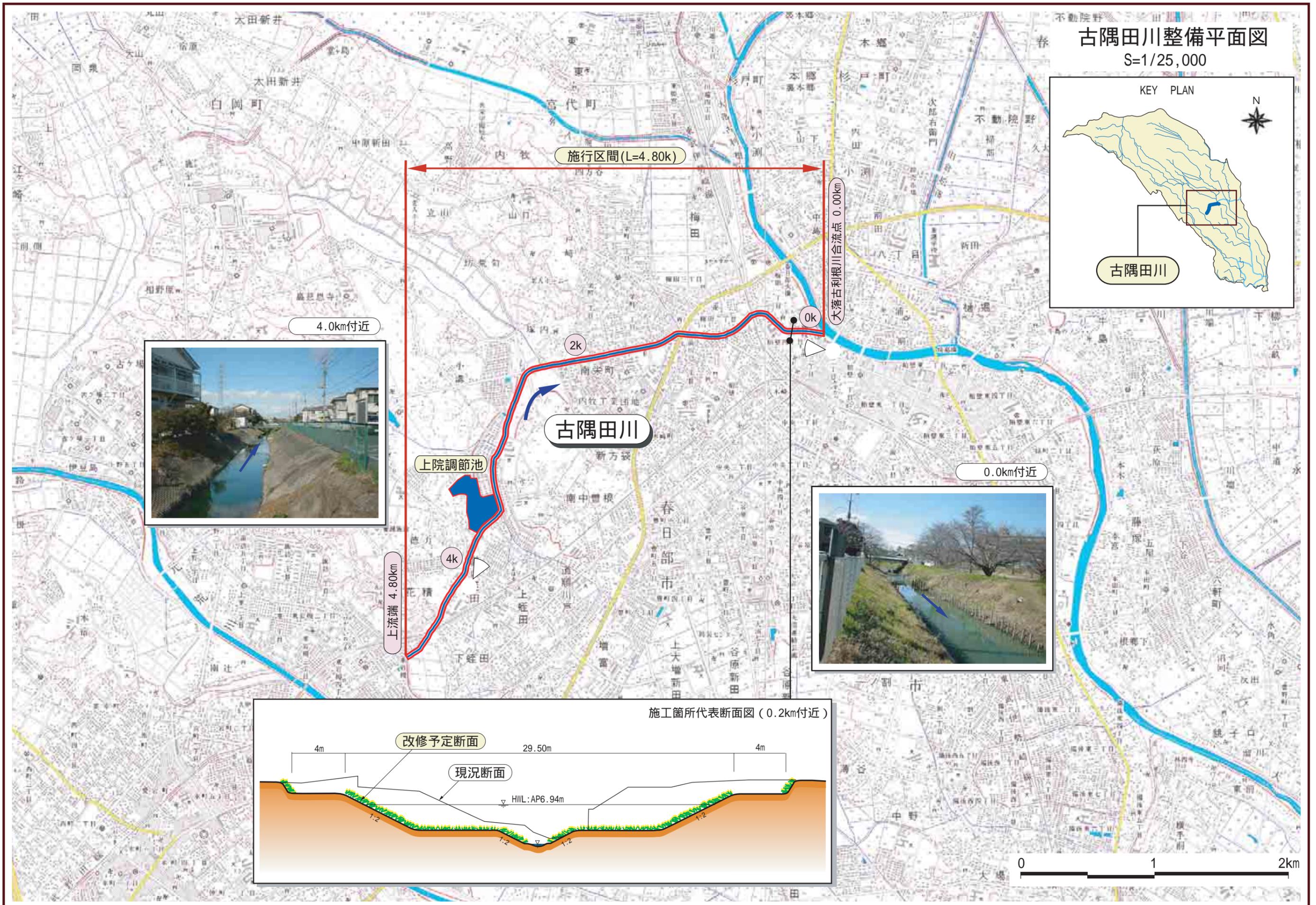


古隅田川1km 付近



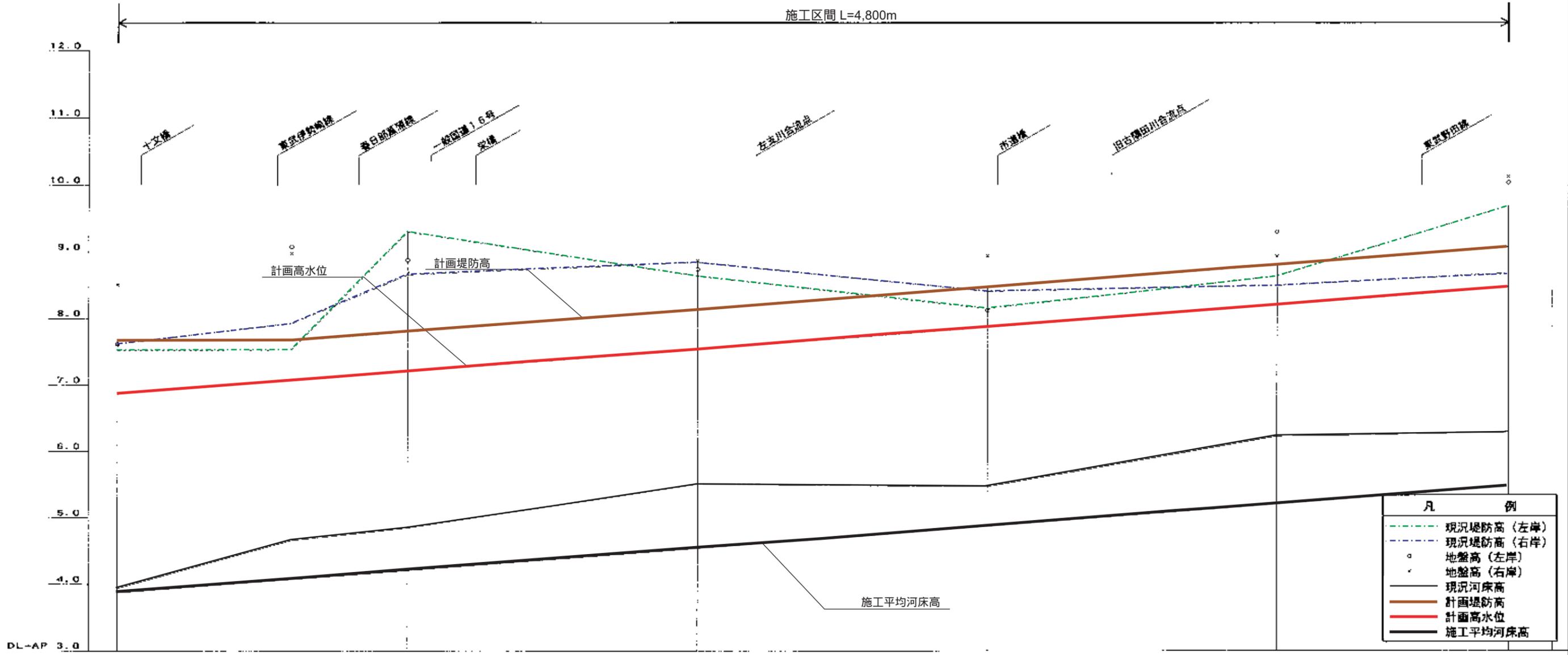
古隅田川3km 付近





古隅田川計画縦断面図

施工区間 L=4,800m



追加距離	凡例				
	○	●	—	—	—
	現況堤防高 (左岸)	現況堤防高 (右岸)	地盤高 (左岸)	地盤高 (右岸)	現況河床高
	計画堤防高	計画高水位	施工平均河床高		

追加距離	0.000k	0.600k	1.000k	2.000k	3.000k	4.000k	4.800k
堤防高	7.88	7.68	7.61	8.14	8.48	8.61	9.08
高水位	6.88		7.21	7.54	7.88	8.21	8.48
施工平均河床高	3.88		4.21	4.54	4.88	5.21	5.48

項目	水質勾配	河床勾配
勾配	1/3,000	1/3,000

はやとほりがわ

隼人堀川・整備計画概要

流域面積 42.48 (31.47) km² 裸書きは支川を含んだ面積、()書きは支川を含まない面積
 流路延長 14.187 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/2,500
 関係市町村 菫蒲町、宮代町、白岡町、蓮田市、岩槻市、春日部市、(久喜市) ()書きは支川の関係市町村

流域および河川の概要

- ・隼人堀川は、埼玉県菫蒲町にその源を発し、途中沼落堀、庄兵衛堀川、三ヶ村落堀、新堀を合流し大落古利根川の16.5 km 付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、農業地域として発達した地域であったが、立地条件の良さから、昭和35年頃より都市化が進展するとともに、最近では市街化の急増に加えて、工業団地も建設され、増々大規模な開発が計画されており。そのため、中小の出水でも湛水被害が発生している。

治水計画

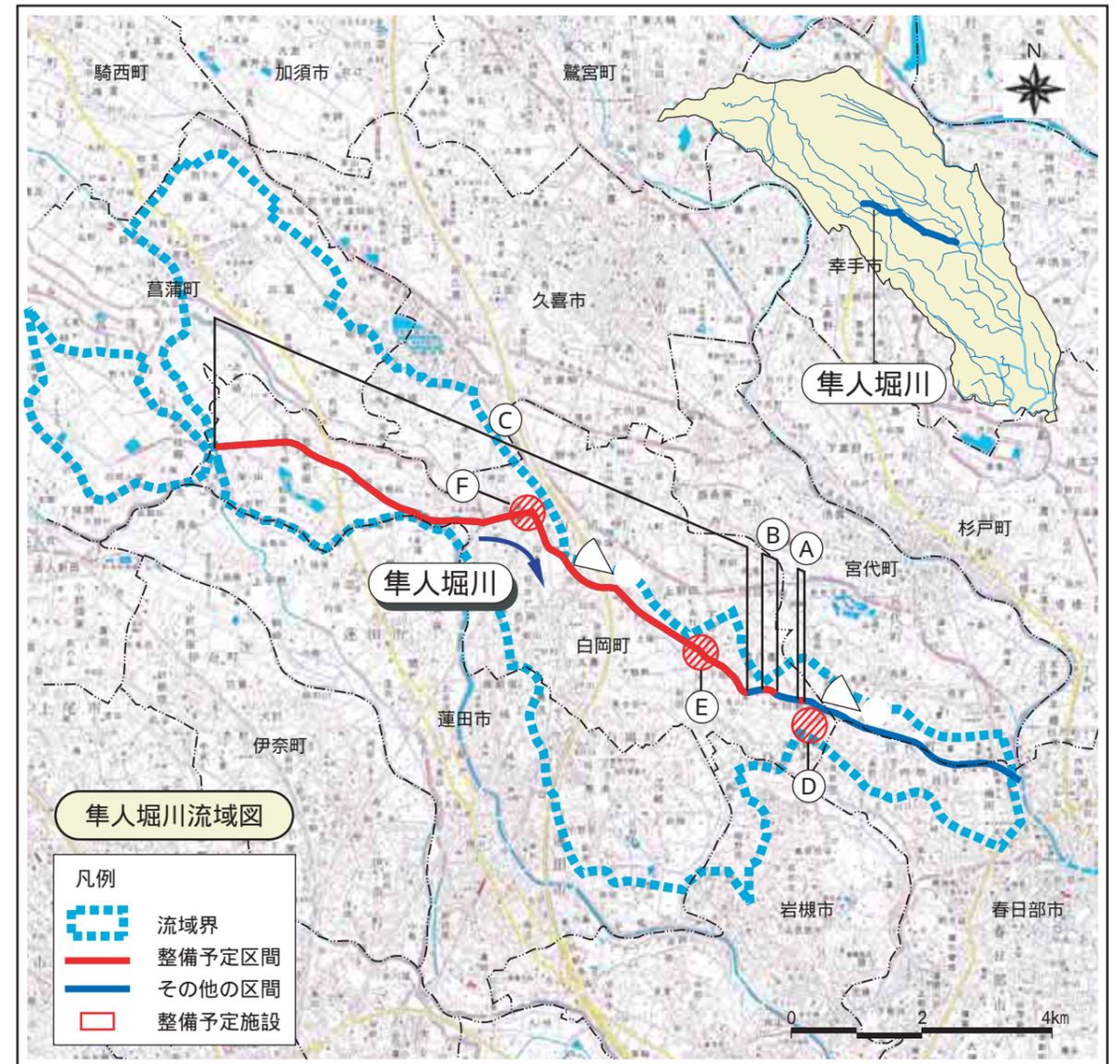
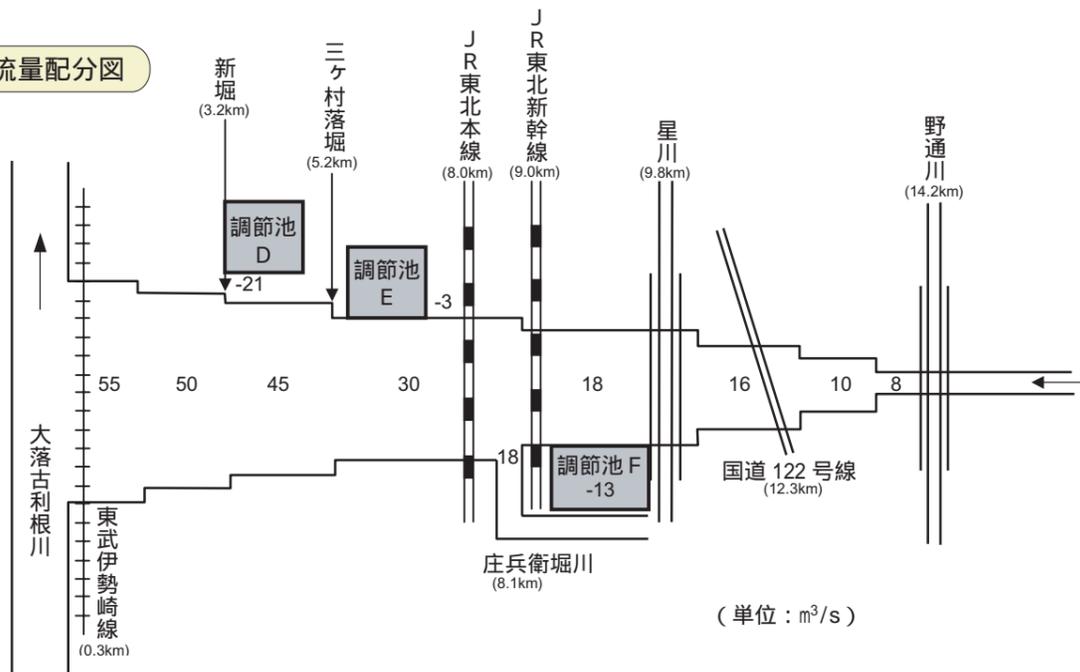
- ・隼人堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 - <整備予定区間> (海老島橋下流3.35 km) ~ (海老島橋上流3.45 km) A
 - (白岡町太田新井地先3.87 km) ~ (六兵衛橋下流4.10 km) B
 - (六兵衛橋上流4.20 km) ~ (上流端14.19 km) C
- ・また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 - <整備予定施設> (調節池) D
 - (調節池) E
 - (調節池) F



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・調節池の整備にあたっては、動植物の生息状況を把握し、必要に応じて現地表土の利用、回避・移植などの対策に努める。

流量配分図



隼人堀川3km 付近

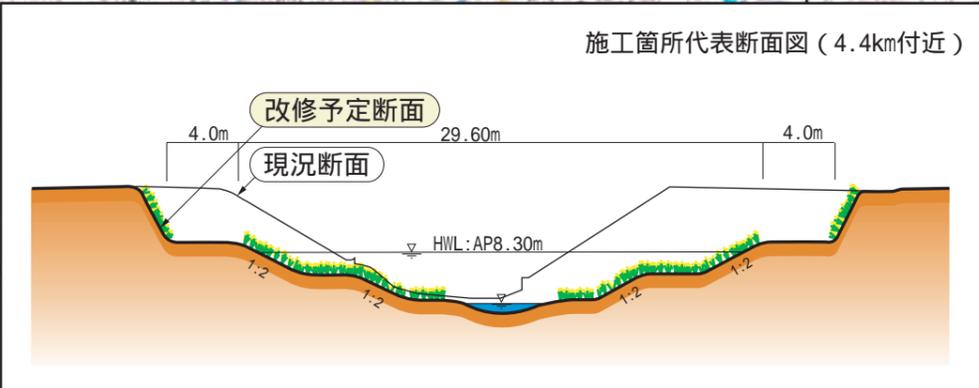
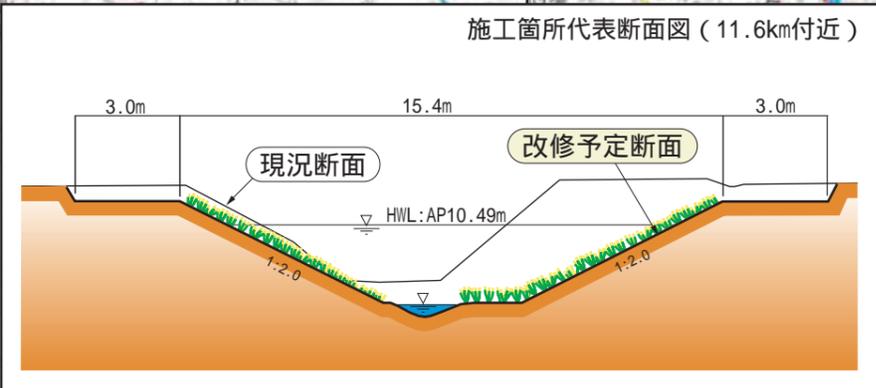
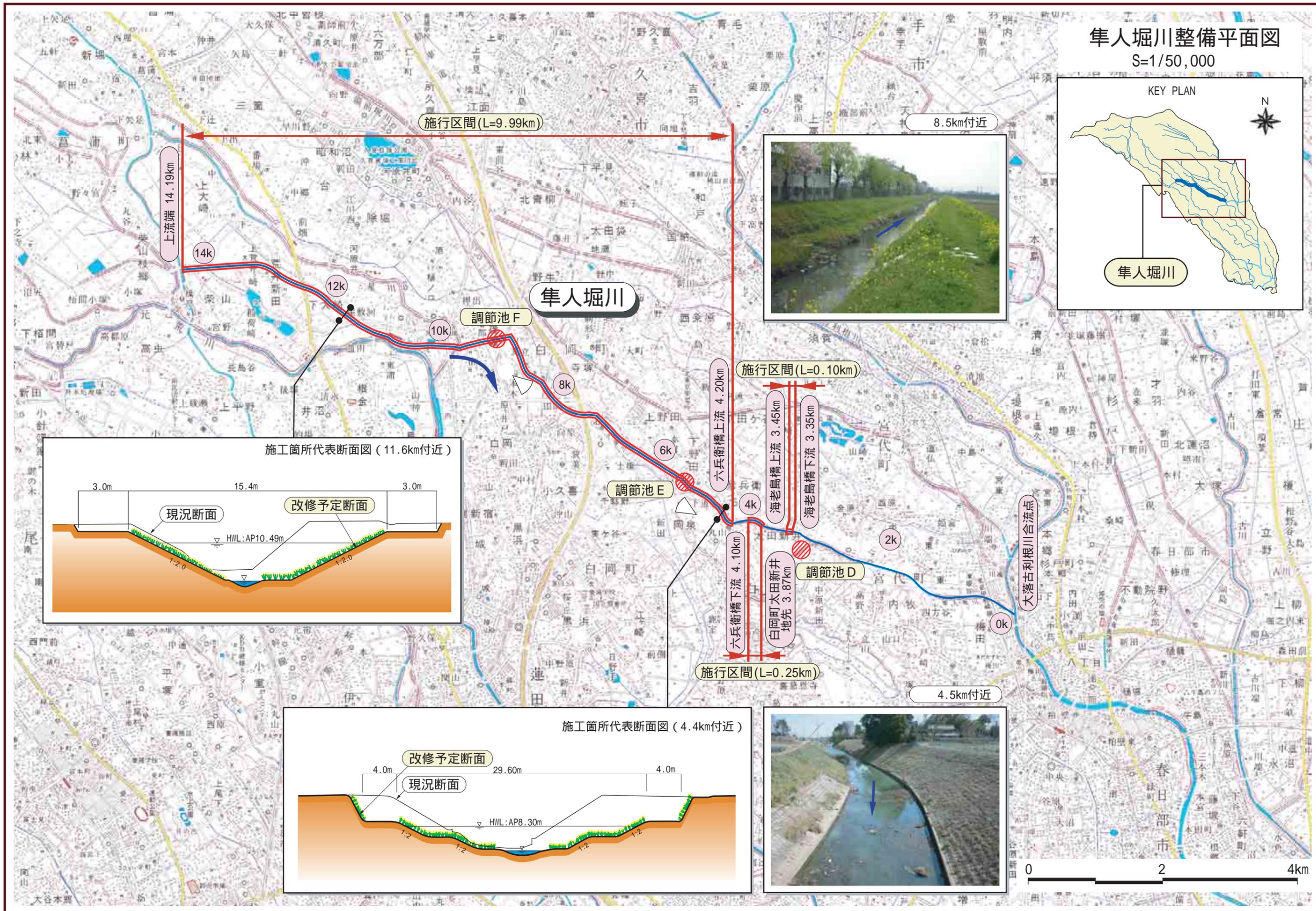
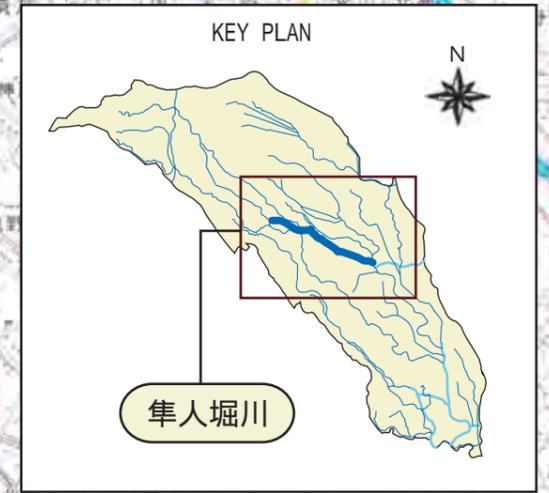


隼人堀川8km 付近

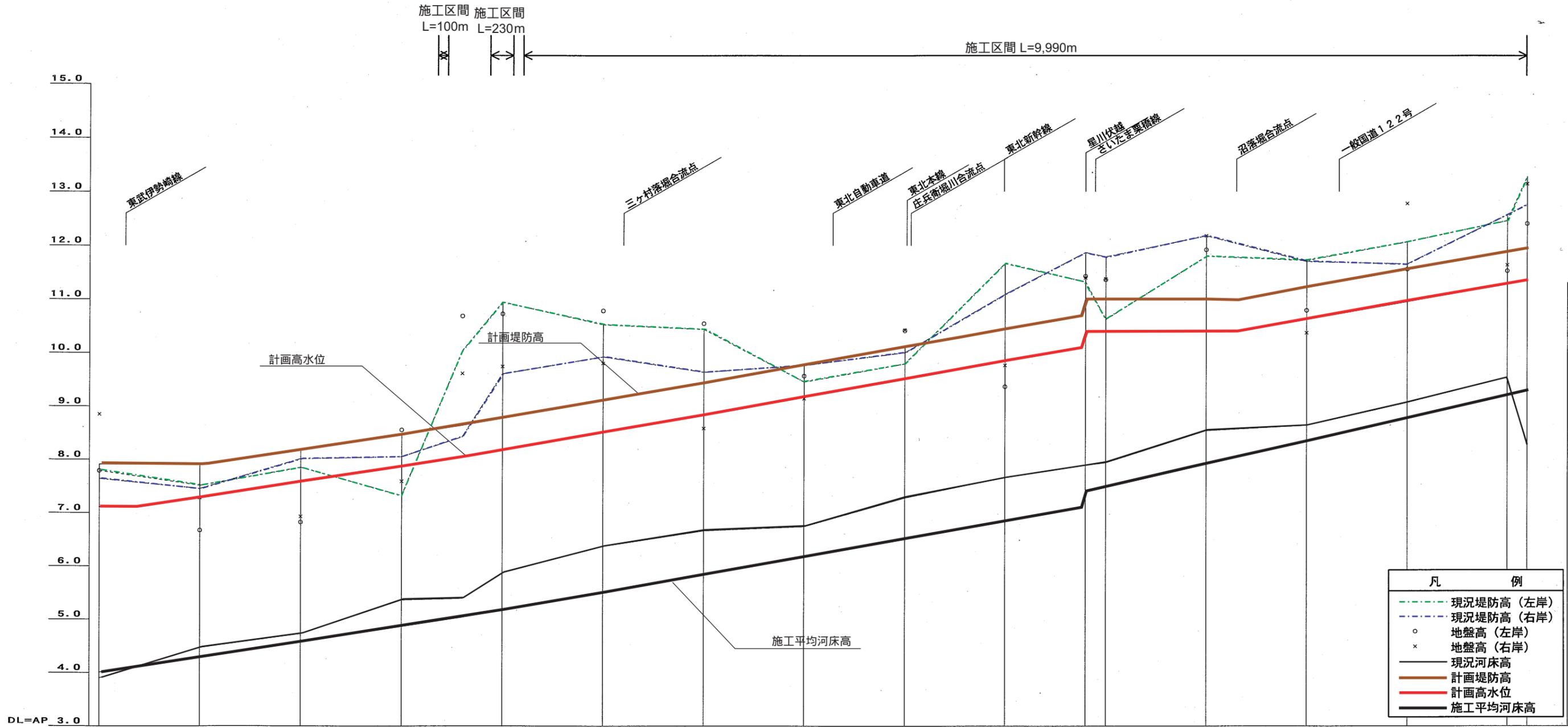


隼人堀川整備平面図

S=1/50,000



隼人堀川計画縦断図



DL=AP 3.0

追加距離	計画																				
	0.000k	0.350k	1.098k	2.000k	3.000k	3.600k	4.000k	5.000k	6.000k	7.000k	8.000k	9.000k	9.750k	10.000k	11.000k	11.300k	12.000k	13.000k	14.000k	14.200k	
施工平均河床高	4.01		4.31	4.58	4.87	5.04	5.17	5.50	5.84	6.17	6.50	6.84	7.99	7.48	7.91		8.35	8.78		9.22	9.30
高水位	7.11	7.11	7.31	7.58	7.87	8.04	8.17	8.50	8.84	9.17	9.50	9.84	10.99	10.39	10.39	10.39	10.62	10.96		11.29	11.35
堤防高	7.91		7.91	8.18	8.47	8.64	8.77	9.10	9.44	9.77	10.10	10.44	10.99	10.99	10.99	10.99	11.22	11.56		11.89	11.95
河床勾配	1/3,500														1/3,000				1/2,300		
水面勾配	Level														Level				1/3,000		

しょうべいほりがわ

庄兵衛堀川・整備計画概要

流域面積 11.01 km²
 流路延長 5.883 km
 合流河川 隼人堀川
 現況河床勾配 1/5,000
 関係市町村 菖蒲町、久喜市、白岡町

流域および河川の概要

- ・庄兵衛堀川は、埼玉県菖蒲町にその源を発し、隼人堀川の8.1km 付近の左岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、農業地域として発達した地域であったが、立地条件の良さから昭和35年頃より都市化へと移行し、道路の整備等と合わせて流域の宅地化が急激に進んでおり、かつての田園地帯から都市地域と変貌しつつあり、中小の出水でも湛水被害が発生している。

治水計画

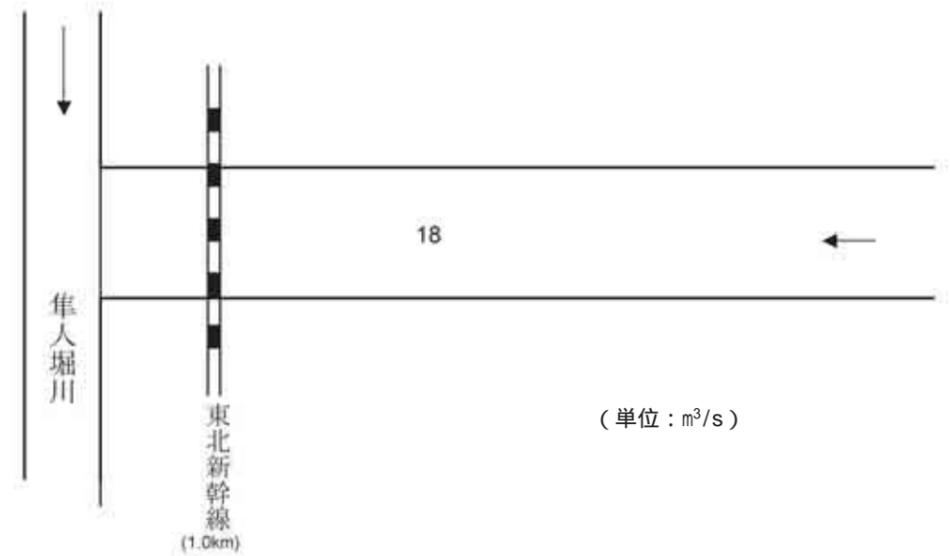
- ・庄兵衛堀川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (隼人堀川合流点0.00 km) ~ (上流端5.88 km) A



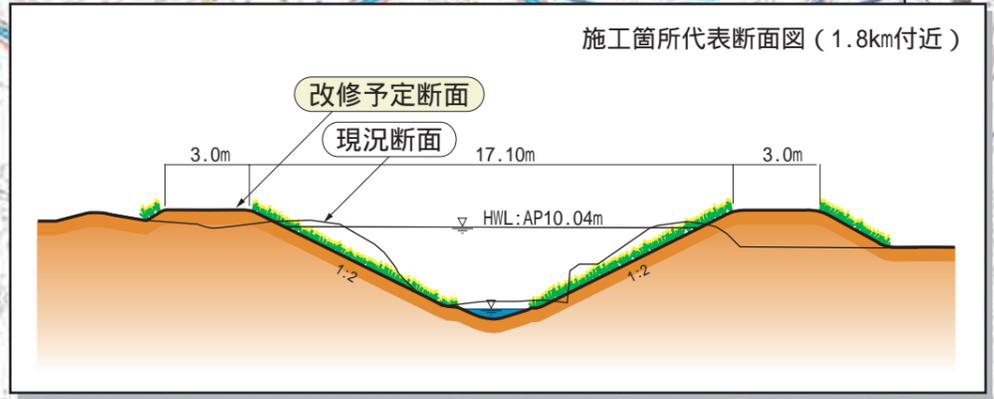
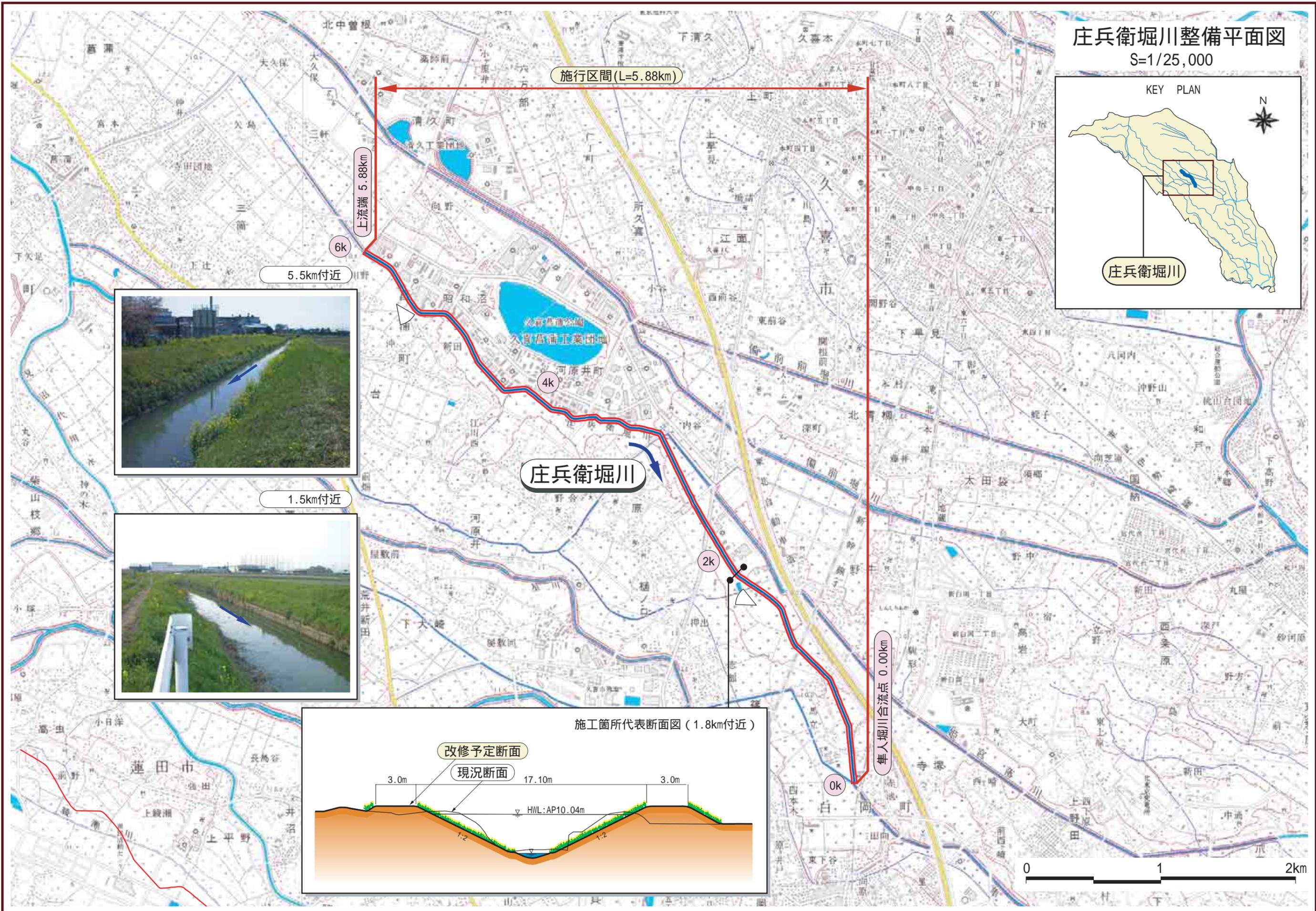
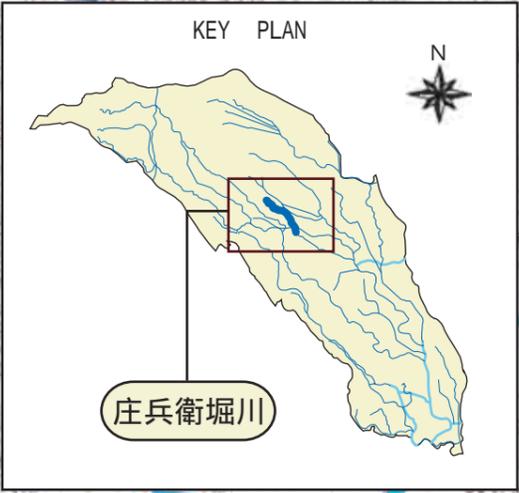
整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。

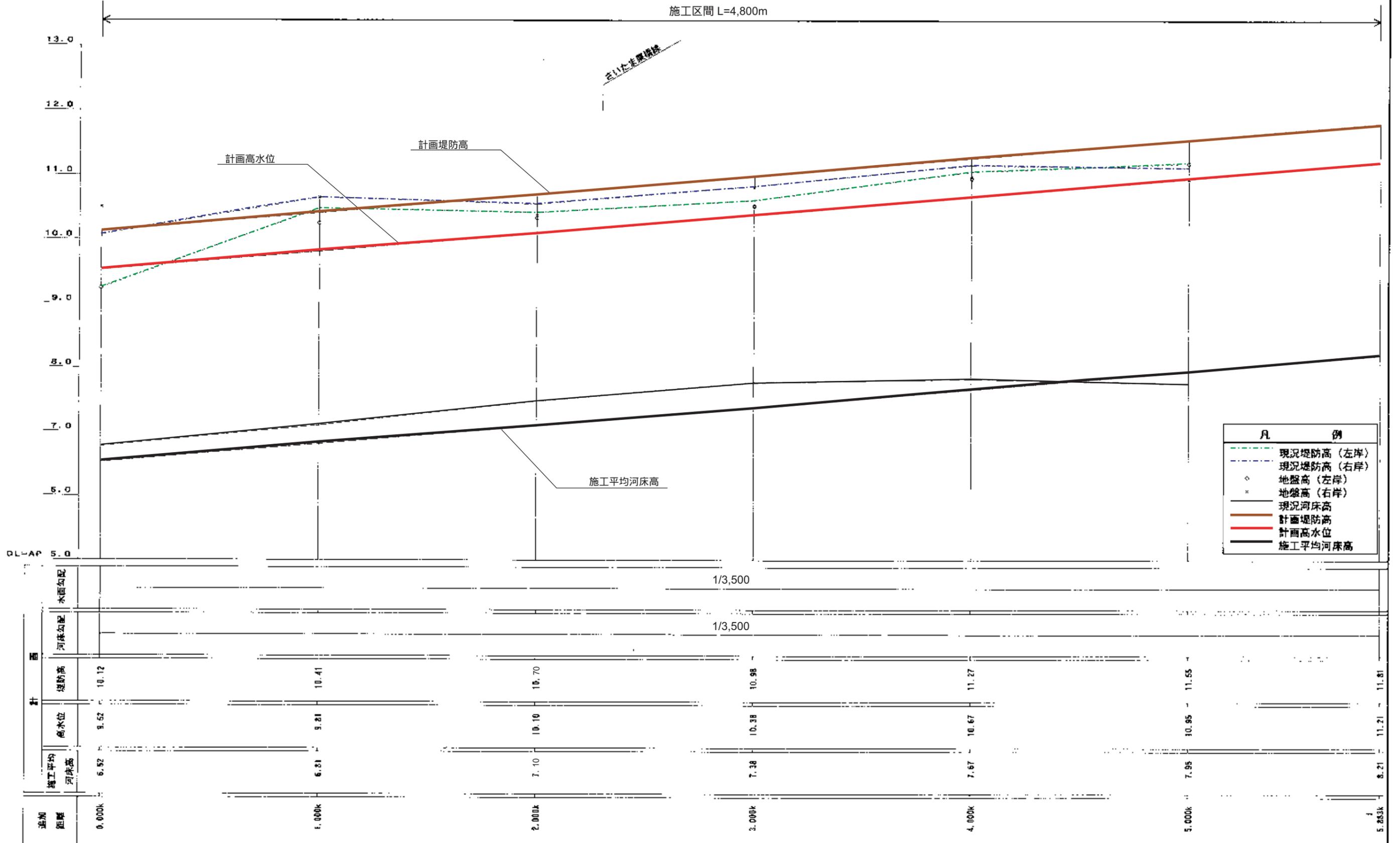
流量配分図



庄兵衛堀川整備平面図
S=1/25,000



庄兵衛堀川計画縦断面図



ひめみやおとしがわ

流域面積 12.90 km²
 流路延長 10.690 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/3,000 ~ 1/4,000
 関係市町村 久喜市、宮代町、白岡町

流域および河川の概要

- ・ 姫宮落川は、埼玉県久喜市にその源を発し、大落古利根川17.4 km 付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・ 流域は、昭和30年当時では農地の割合が流域内の約80% を占める農業地域であったが、現在においては、流域の北東部を東武伊勢崎線、西部にJR 東北線が走り、都心から40 km 圏にあるため、ベッドタウンとしての住宅地の開発、また、大学の設置等により市街化の著しい地域となっている。

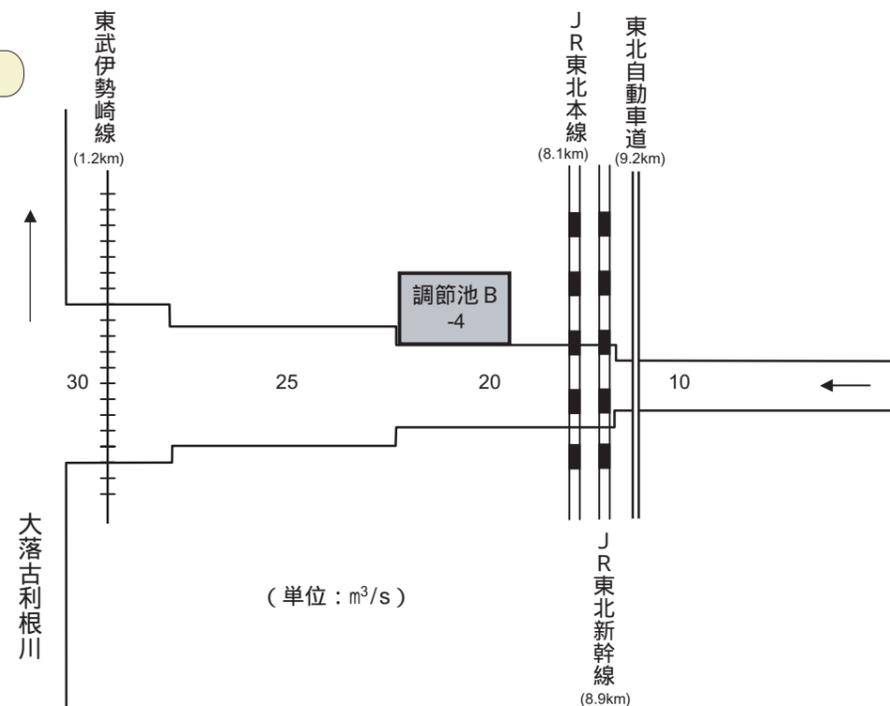
治水計画

- ・ 姫宮落川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 < 整備予定区間 > (柚ノ木橋下流0.60 km) ~ (上流端10.69 km) A
- ・ また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の施設を整備する。
 < 整備予定施設 > (調節池) B

整備上の留意点

- ・ 護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・ 河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・ 落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造とするよう努める。
- ・ 姫宮落川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているノウルシ、コウホネ、ナガボノシロワレモコウの生育がみられる地域や、カワセミの生息地及び繁殖地となっている地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



姫宮落川・整備計画概要



姫宮落川3km 付近

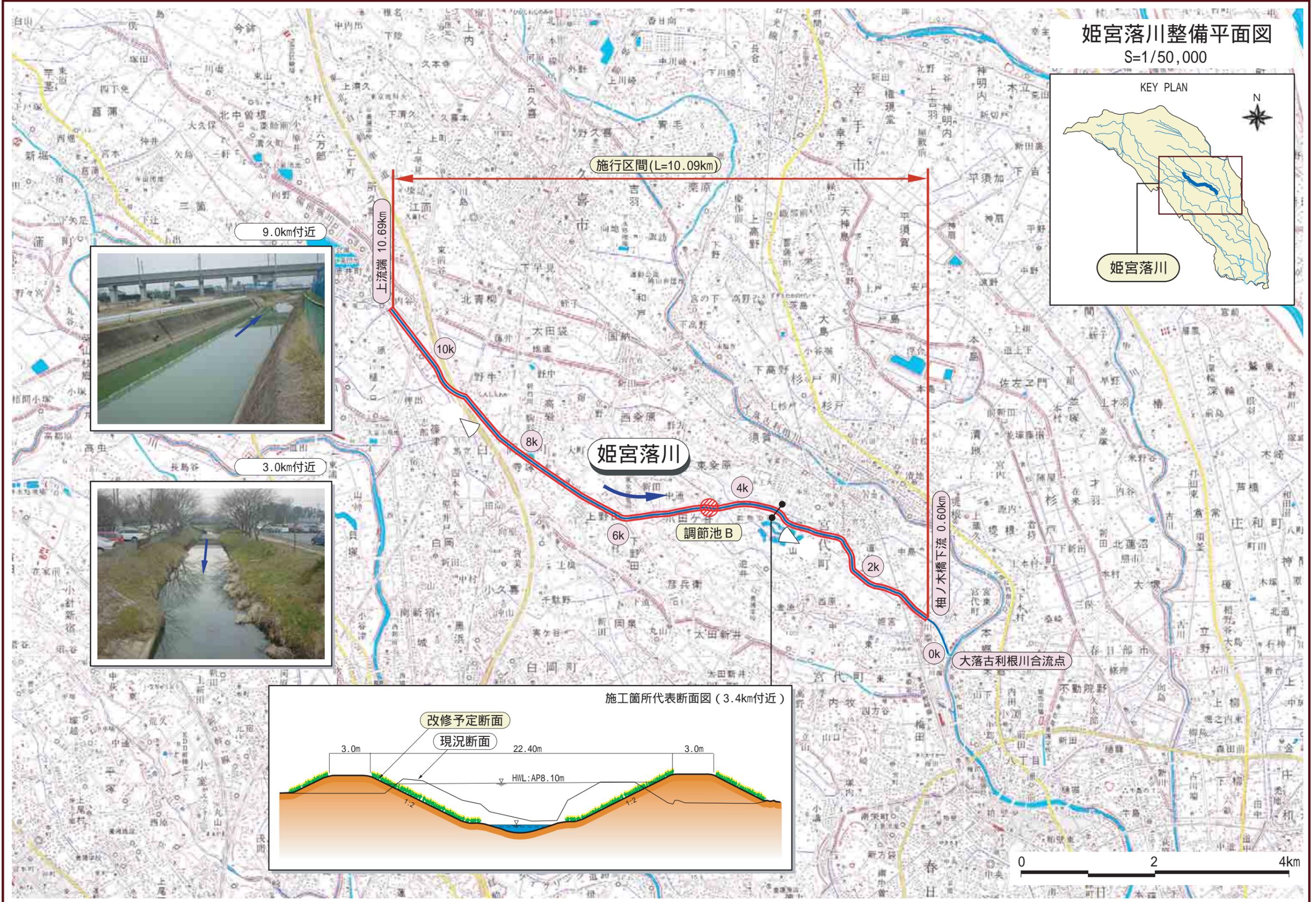
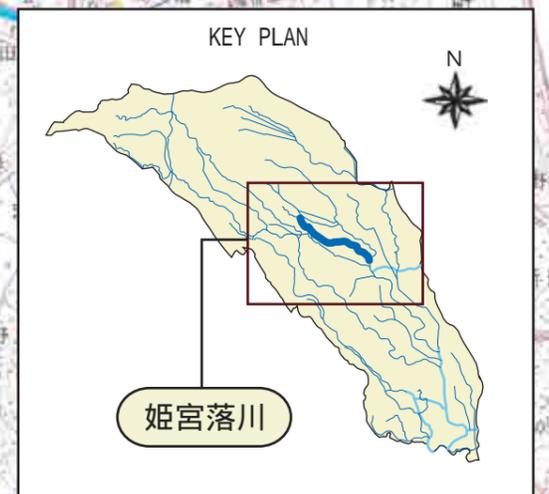


姫宮落川8km 付近



姫宮落川整備平面図

S=1/50,000



施行区間(L=10.09km)

9.0km付近

10.09km

3.0km付近

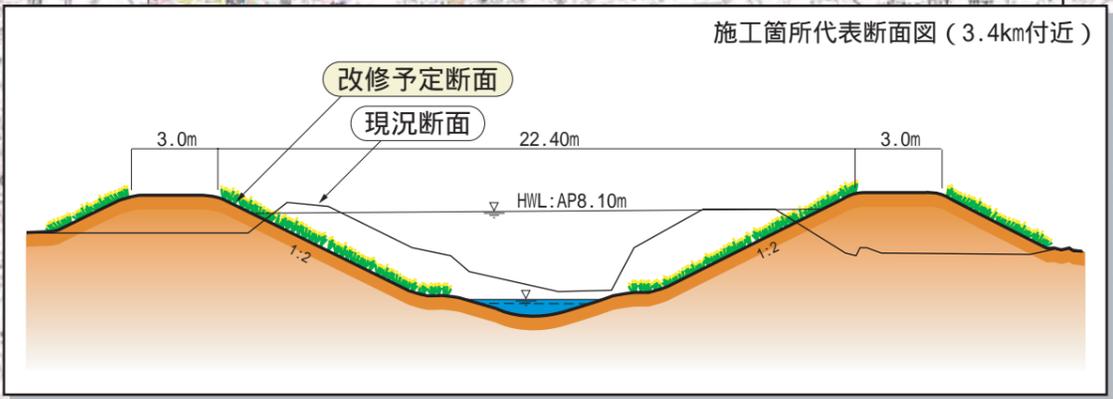
姫宮落川

調整池B

0.60km

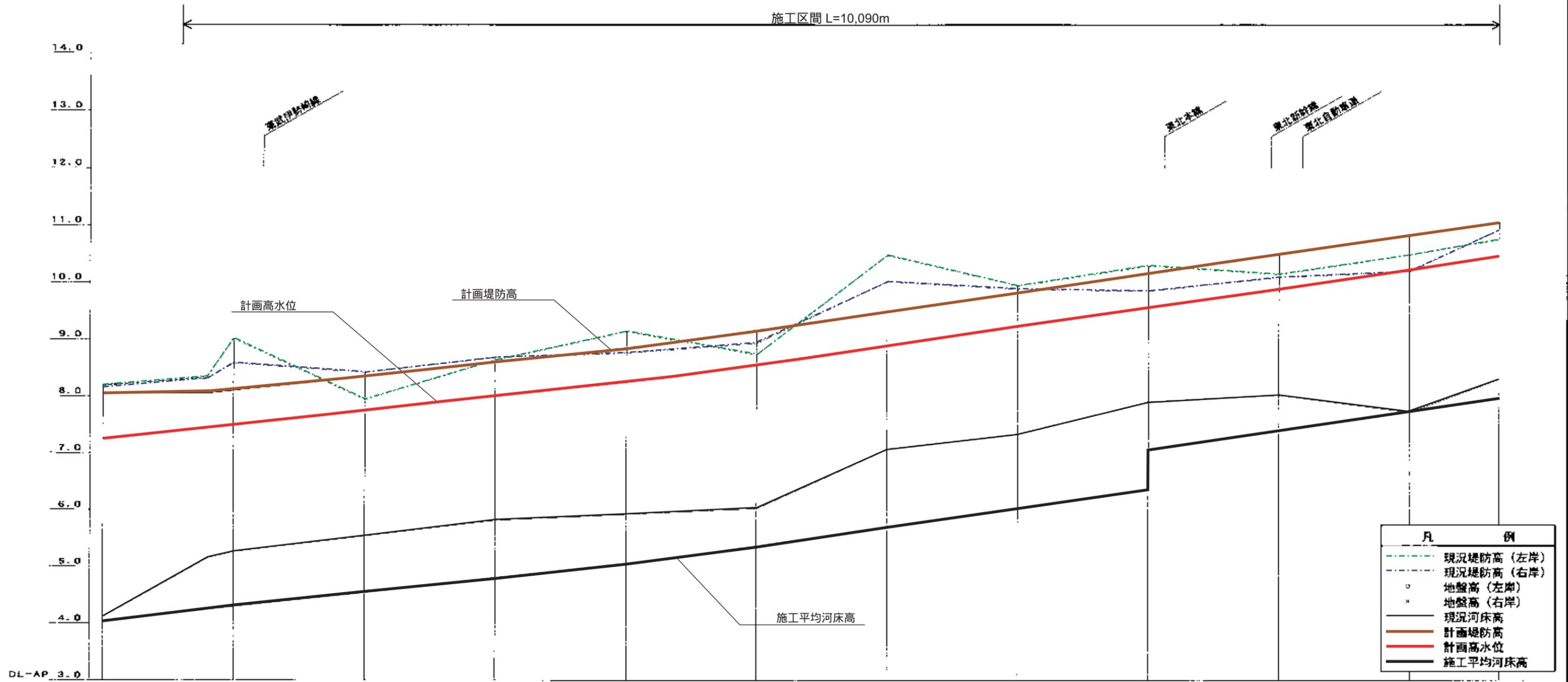
大落古利根川合流点

施工箇所代表断面図(3.4km付近)



姫宮落川計画縦断面図

施工区間 L=10,090m



凡 例	
---○---	現況堤防高 (左岸)
---×---	現況堤防高 (右岸)
○	地盤高 (左岸)
×	地盤高 (右岸)
—	現況河床高
—	計画堤防高
—	計画高水位
—	施工平均河床高

追加 距離	計			
	施工平均 河床高	高水位	堤防高	水面勾配
0.000k	4.05	7.25	8.05	1/4,000
0.800k			8.05	
1.000k	4.30	7.50	8.10	1/4,000
2.000k	4.55	7.75	8.35	
3.000k	4.80	8.00	8.60	
4.000k	5.05	8.25	8.85	
4.300k	5.12	8.32	8.92	
5.000k	5.36	8.56	9.16	
6.000k	5.69	8.89	9.49	
7.000k	6.02	9.22	9.82	1/3,000
8.000k	6.36 (7.05)	9.56	10.16	
9.000k	7.39	9.89	10.49	
10.000k	7.72	10.22	10.82	
10.090k	7.95	10.45	11.05	

びぜんほりがわ

備前堀川・整備計画概要

流域面積 2647 km²
 流路延長 11400 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/2500
 関係市町村 騎西町、川里町、菖蒲町、久喜市、宮代町、白岡町

流域および河川の概要

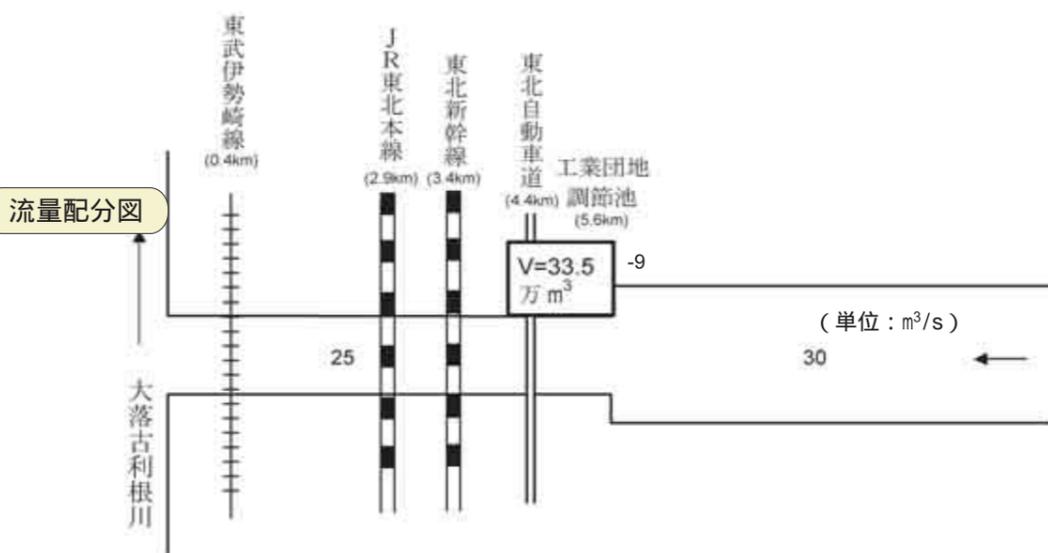
- ・備前堀川は、埼玉県騎西町で大英寺落及び小沢田落を合わせてその源を発し、途中ハヶ村落、江面落川を合流し、大落古利根川24.6km 付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、東武伊勢崎線、JR 東北線、JR 東北新幹線及び東北自動車道が横断し、久喜市に近接していることから市街地の拡大、東北自動車道久喜インターチェンジに近いことから工業団地等の開発が進展しつつある。

治水計画

- ・備前堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (大落古利根川合流点0.00km) ~ (上流端11.40km) A

整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・備前堀川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているフジバカマ、ナガボノアカワレモコウ、サンショウモ、ミズワラビの生育がみられる地域や、ジャコウアゲハの生息がみられる地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。



備前堀川2.5km 付近

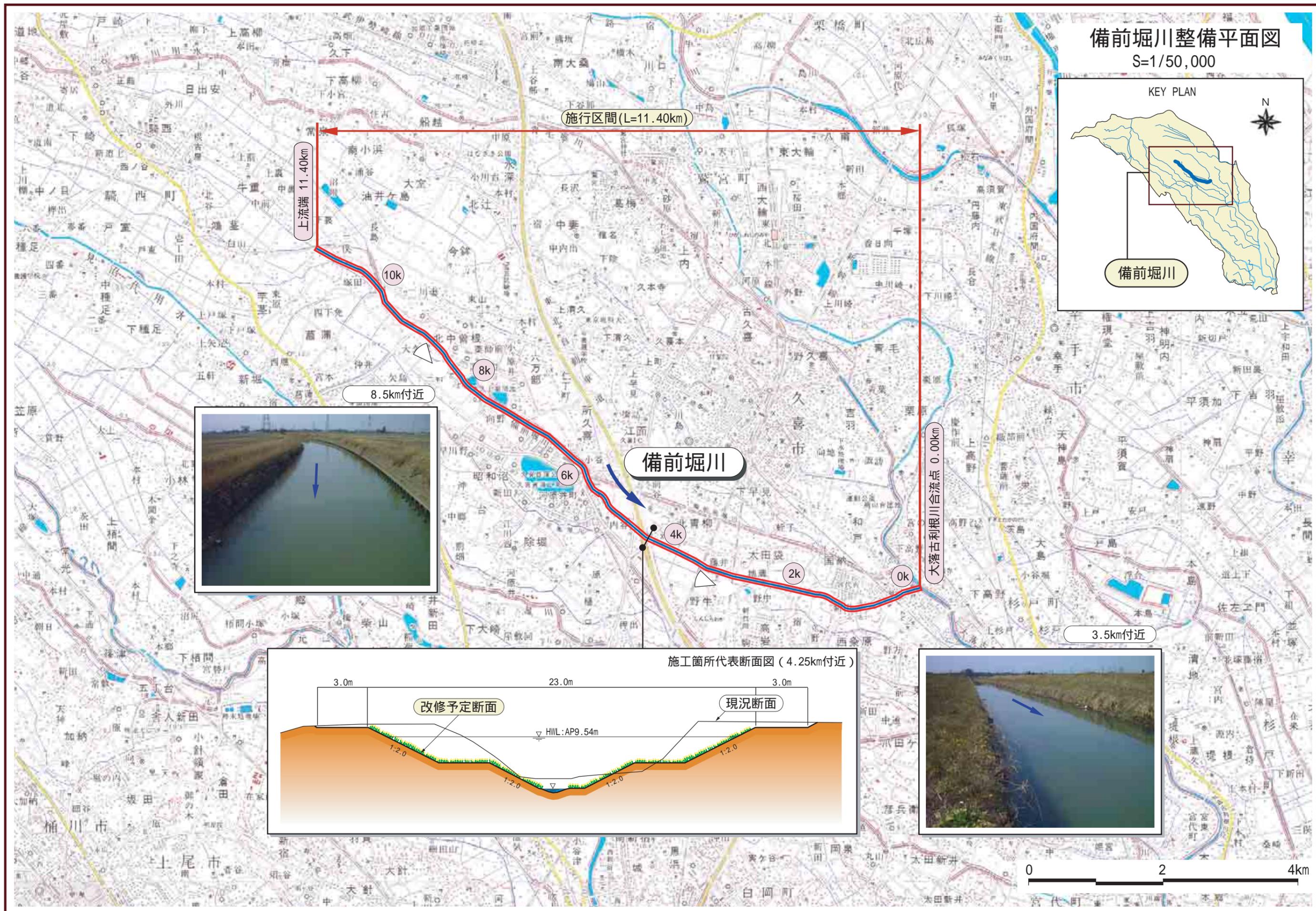
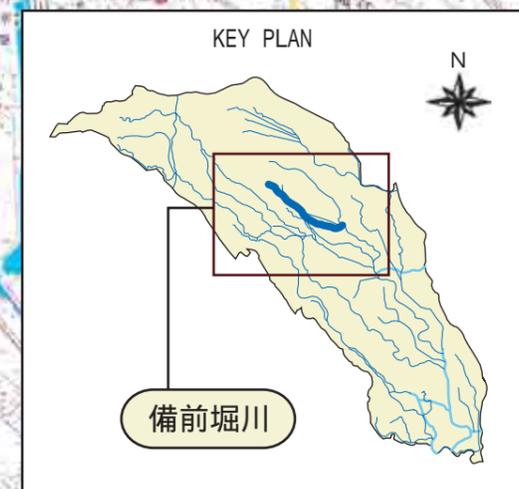


備前堀川8.0km 付近



備前堀川整備平面図

S=1/50,000



8.5km付近

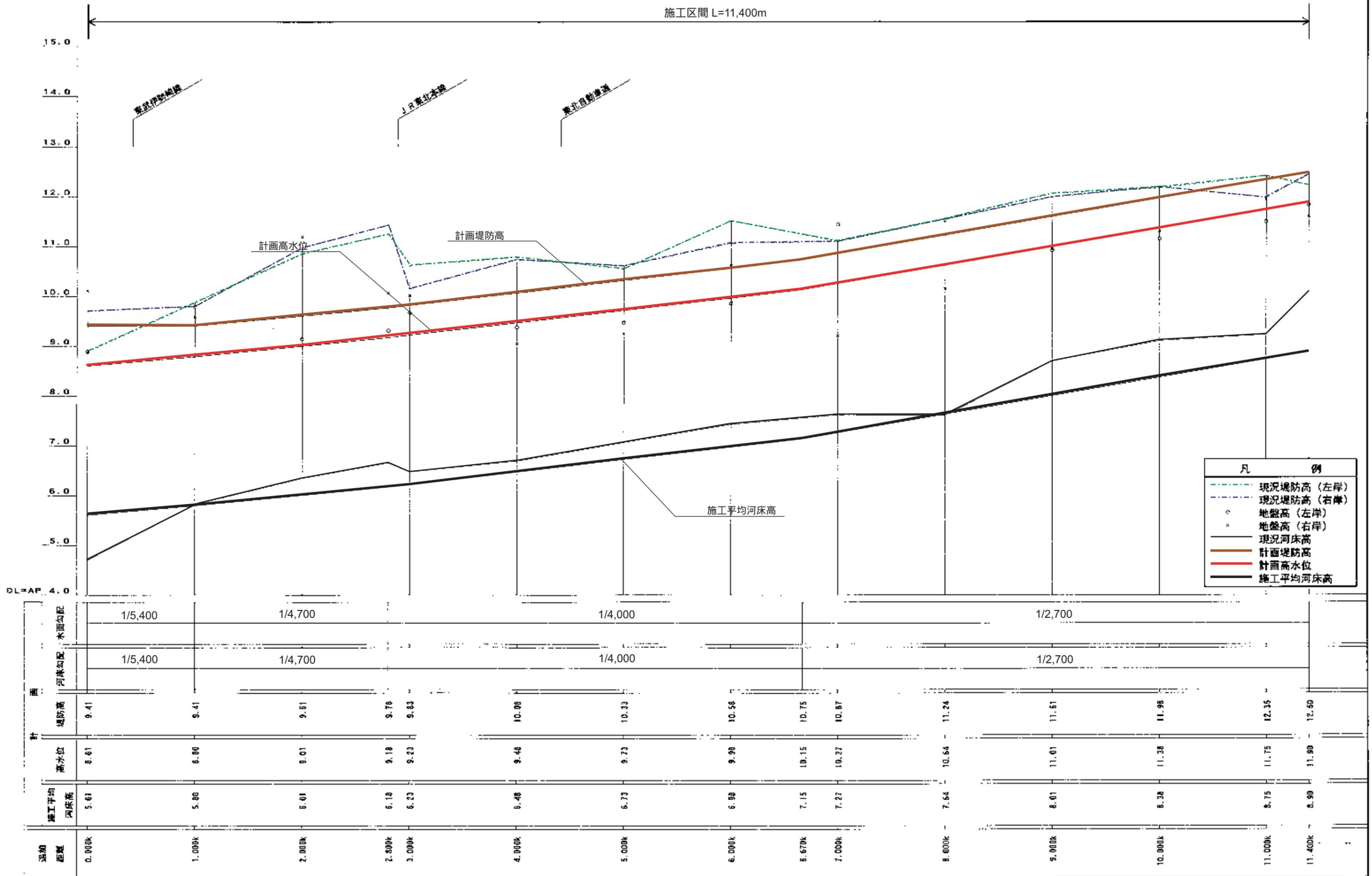


3.5km付近



備前堀川計画縦断面図

施工区間 L=11,400m



びぜんまえほりがわ

流域面積 14.50 km²
 流路延長 7.820 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/2,500
 関係市町村 加須市、久喜市、宮代町

流域および河川の概要

- ・備前前堀川は、埼玉県加須市で五ヶ村落を合わせてその源を発し、途中磯沼落、仏供田落を合流し、大落古利根川2.5.0km 付近の右岸右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、東武伊勢崎線、JR 東北線、JR 東北新幹線及び東北自動車道が横断しており、久喜インターチェンジがあることから工業団地等の開発が発展しつつある。

治水計画

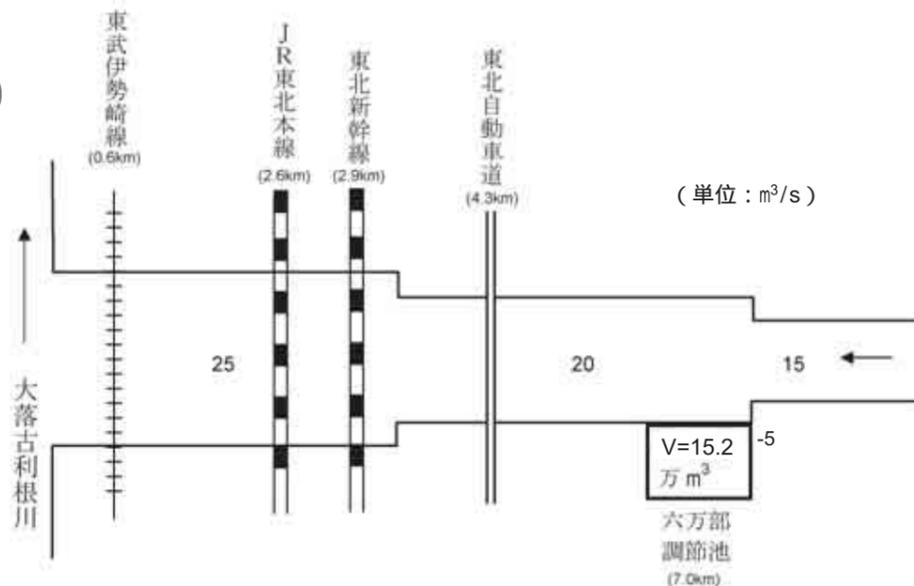
- ・備前前堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河道を拡幅するとともに、河床の掘削及び築堤により河積の拡大を図る。
- < 整備予定区間 > (大落古利根川合流点0.00km) ~ (上流端7.82 km) A



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・備前前堀川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているフジバカマ、ナガボノアカワレモコウ、サンショウモ、ミズワラビの生育がみられる地域や、ジャコウアゲハの生息がみられる地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



備前前堀川・整備計画概要



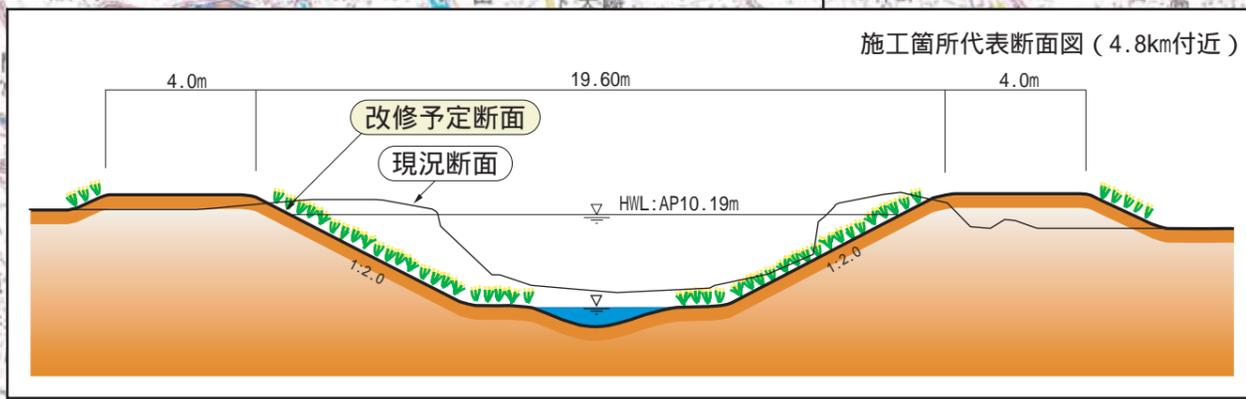
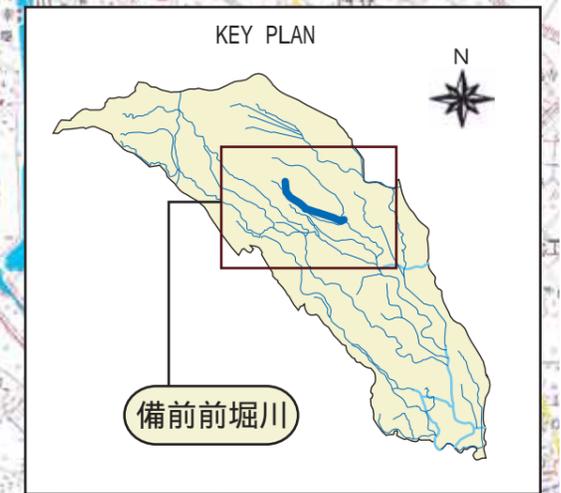
備前前堀川1.5km 付近



備前前堀川6.0km 付近

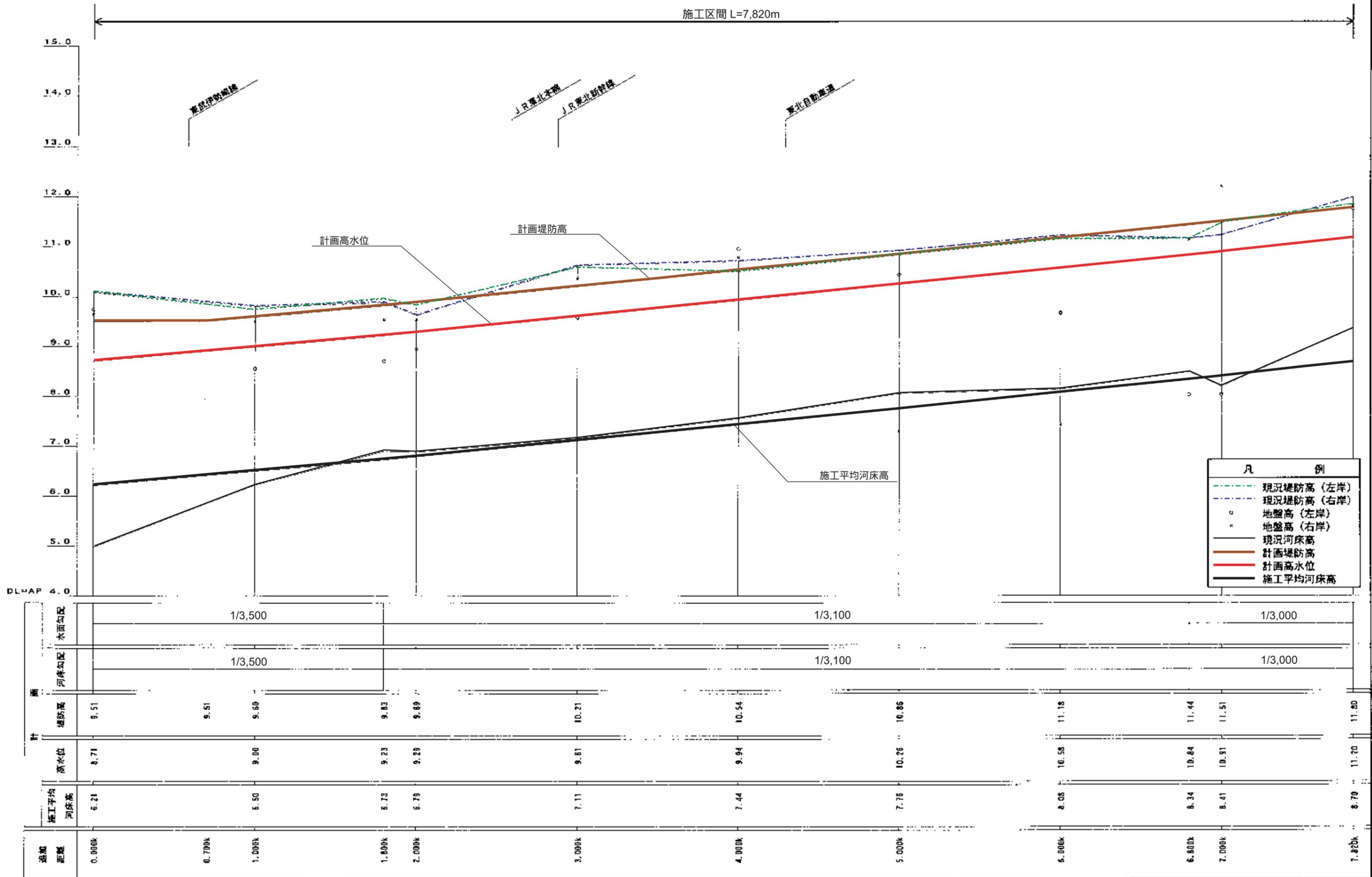


備前前堀川整備平面図
S=1/50,000



備前前堀川計画縦断図

施工区間 L=7,820m



あおげほりがわ

青毛堀川・整備計画概要

流域面積 34.54 km²
 流路延長 11.238 km
 合流河川 大落古利根川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 加須市、騎西町、久喜市、鷲宮町

流域および河川の概要

- ・青毛堀川は、埼玉県加須市にその源を發し、途中鷲宮江川を合流し、大落古利根川26.6 km付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は、約半分が水田として利用されており、これらは自然の遊水地として大きな役割を果たしていたが、近年急激に都市化が進み、開発による流域の土地利用形態の変化に伴い流出形態も大幅に変化し、現在のままではその排水に関する青毛堀川の氾濫による被害の増大が予想される。

治水計画

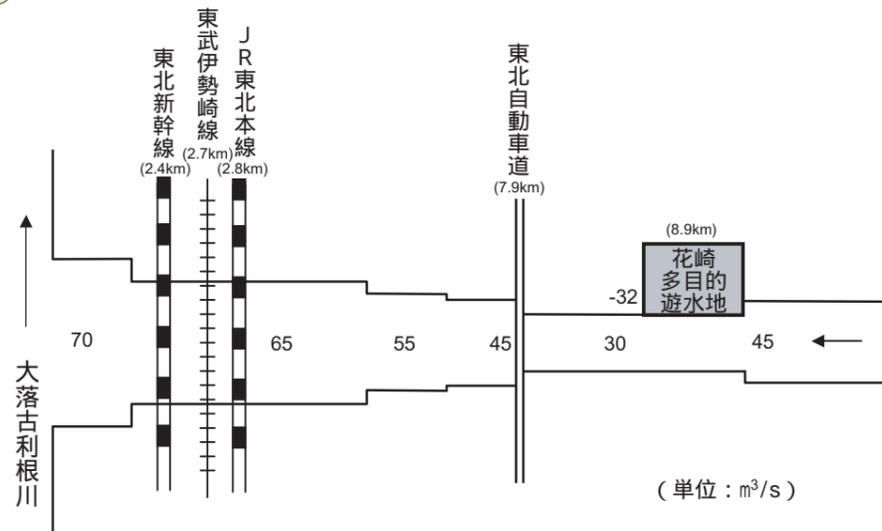
- ・青毛堀川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (喜橋下流1.56 km) ~ (上流端11.24 km) A
- ・また、河道のピーク流量の低減を目的として、以下の治水施設を整備する。
 <整備予定施設> (花崎多目的遊水地) B



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・調節池の整備にあたっては、広大なオープンスペースを活かし、「加須はなさき公園」の整備とあわせて、自然環境の再生や人々に安全と潤いのある生活環境を提供するなど、さまざまな機能を持たせ活用する。

流量配分図

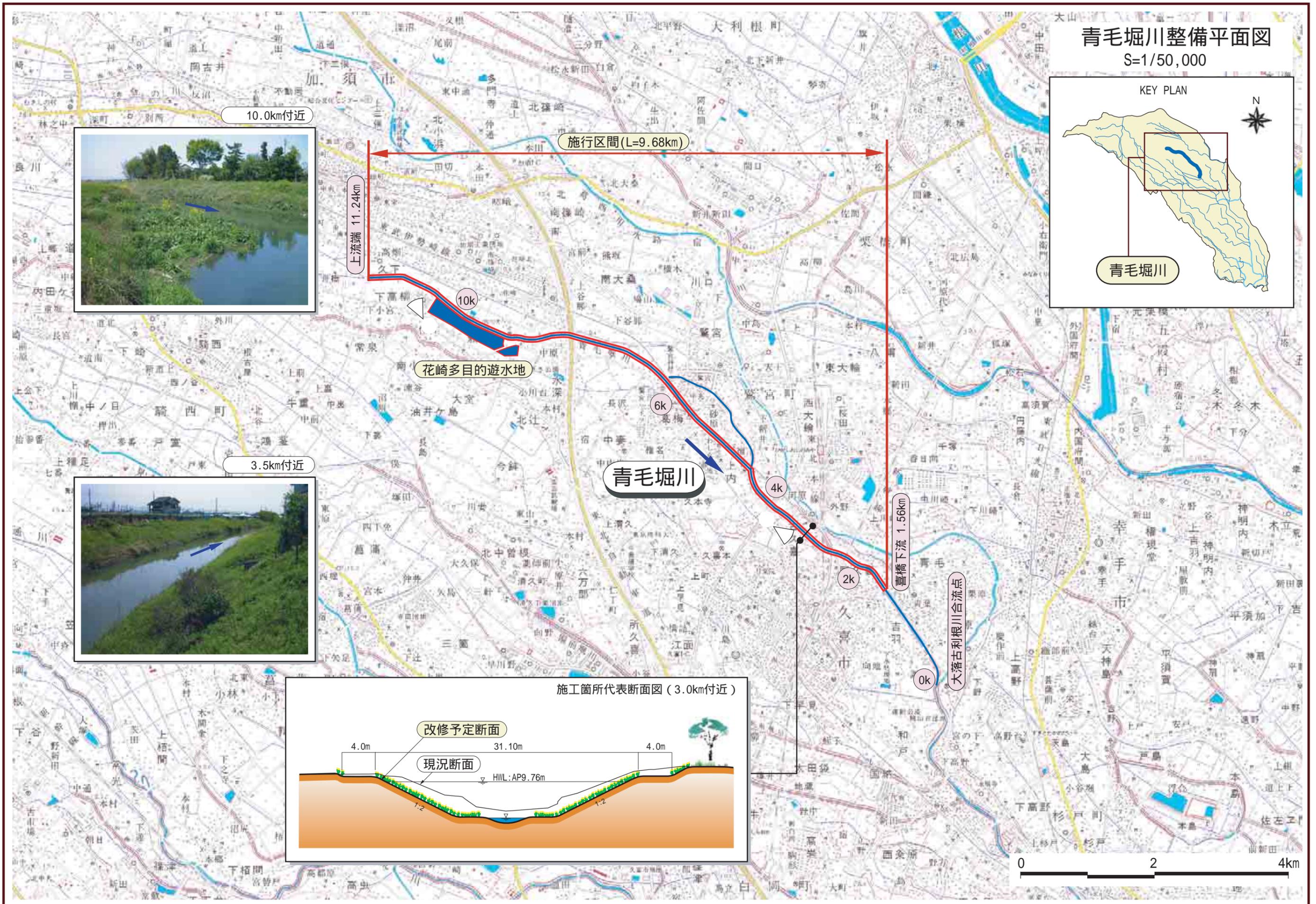


青毛堀川2.5km 付近



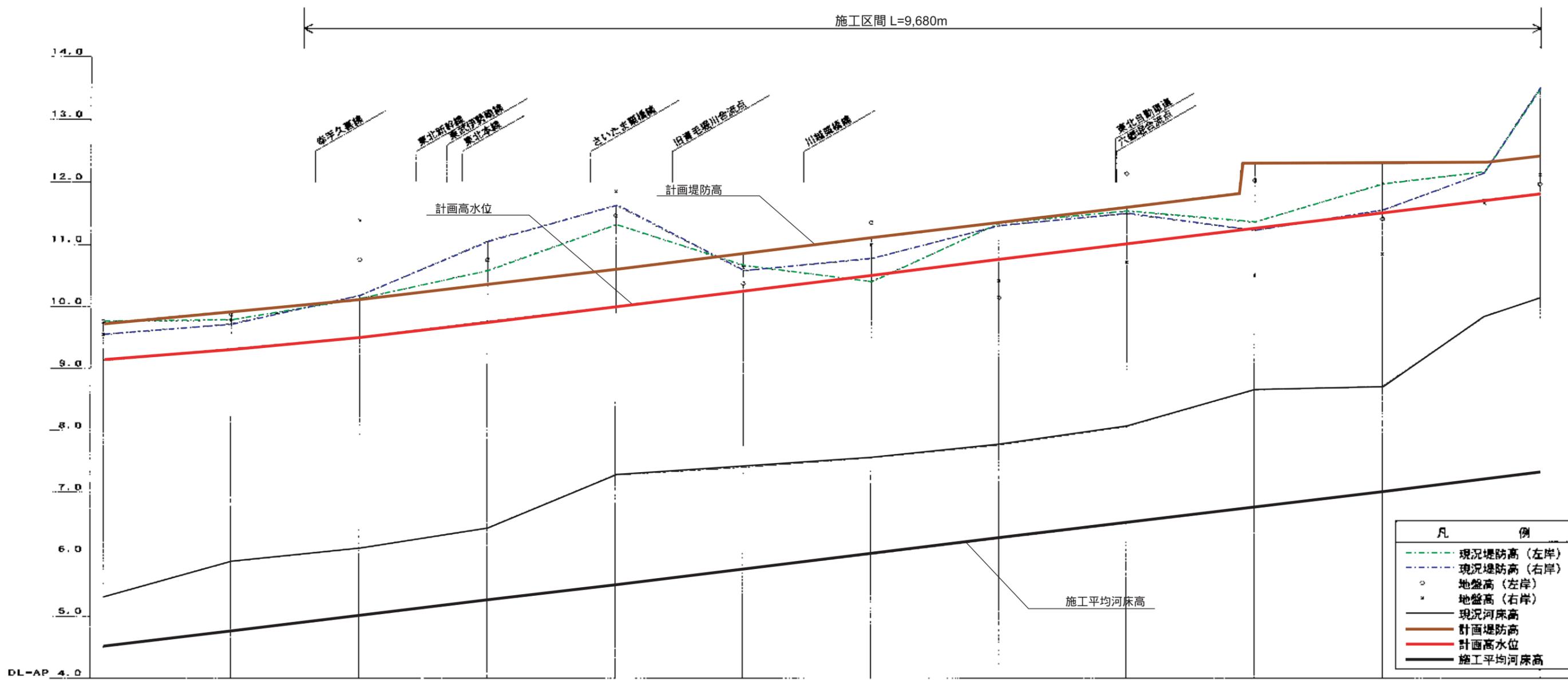
青毛堀川8.5km 付近





青毛堀川計画縦断面図

施工区間 L=9,680m



堤間距離	水面勾配		河床勾配		堤防高		高水位		施工平均河床高	
	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右
0.000k	1/5,400		1/4,000		9.73	9.73	9.13	9.13	4.51	4.51
1.000k					9.92	9.92	9.32	9.32	4.76	4.76
1.900k 2.000k					10.08 10.11	10.08 10.11	9.48 9.51	9.48 9.51	5.01	5.01
3.000k					10.36	10.36	9.76	9.76	5.26	5.26
4.000k					10.51	10.51	10.01	10.01	5.51	5.51
5.000k					10.26	10.26	10.25	10.25	5.76	5.76
6.000k					11.11	11.11	10.51	10.51	6.01	6.01
7.000k					11.36	11.36	10.76	10.76	6.26	6.26
8.000k					11.61	11.61	11.01	11.01	6.51	6.51
8.988k 9.000k					12.87 12.31	12.87 12.31	11.26	11.26	6.76	6.76
10.000k					12.31	12.31	11.51	11.51	7.01	7.01
10.600k					12.31	12.31	11.82	11.82	7.32	7.32
11.238k					12.42	12.42	11.82	11.82	7.32	7.32

くらまつがわ

流域面積 32.10 km²
 流路延長 13 800 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 鷲宮町、幸手市、杉戸町、春日部市

流域および河川の概要

- ・倉松川は、埼玉県鷲宮町にその源を發し、中川44.0 km付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は中川と大落古利根川的作用による自然堤防とその後背湿地が大部分を占め、古くから洪水の度に被害に見舞われている。
- ・平成14年には、首都圏外郭放水路が江戸川～倉松川間で試験通水（ポンプ：100 m³/s暫定完成）を開始している。

治水計画

- ・倉松川では、下記の区間において、整備目標流量を安全に流下させるため、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。

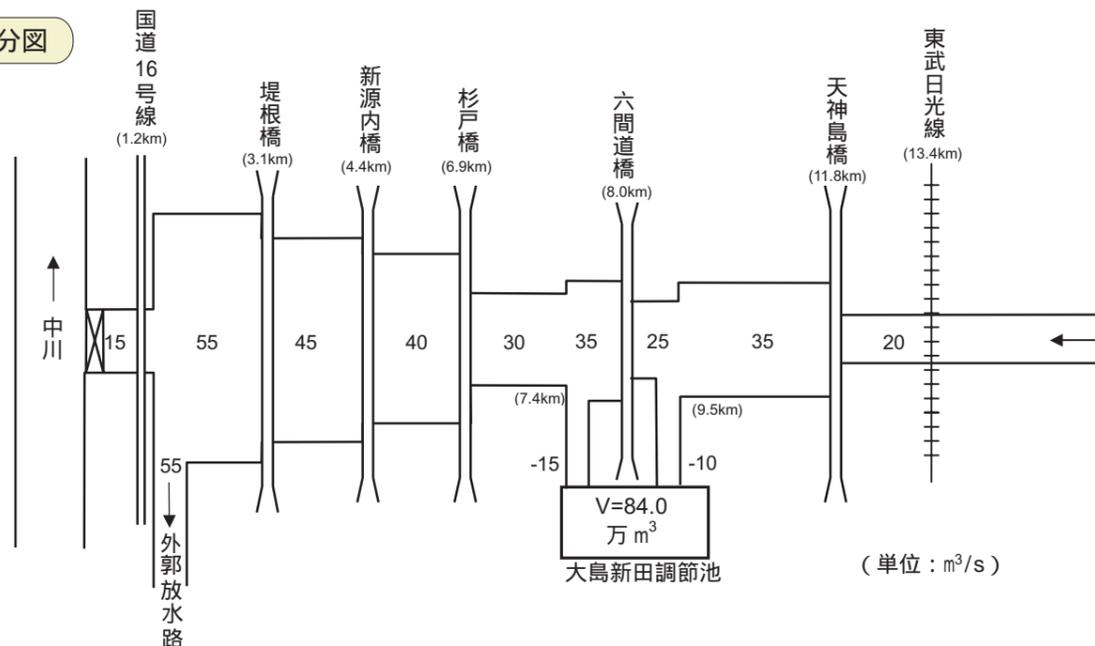
＜整備予定区間＞（中川合流点0.00 km）～（国道16号1.20 km） A
（久太郎橋下流2.25 km）～（久太郎橋上流2.30 km） B
（倉松橋下流2.80 km）～（桑崎橋上流3.40 km） C
（鷹匠橋5.40 km）～（水管橋上流6.95 km） D
（大島新田調節池越流堤下流7.45 km）～（留八橋上流7.70 km） E
（長八橋下流8.56 km）～（金附田橋上流9.00 km） F
（天神島橋11.80 km）～（上流端13.80 km） G



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・倉松川の水辺には埼玉県のレッドデータブックに記載されているナガボノシロワレモコウが生育している地域があるので、整備にあたっては十分配慮する。

流量配分図



倉松川・整備計画概要



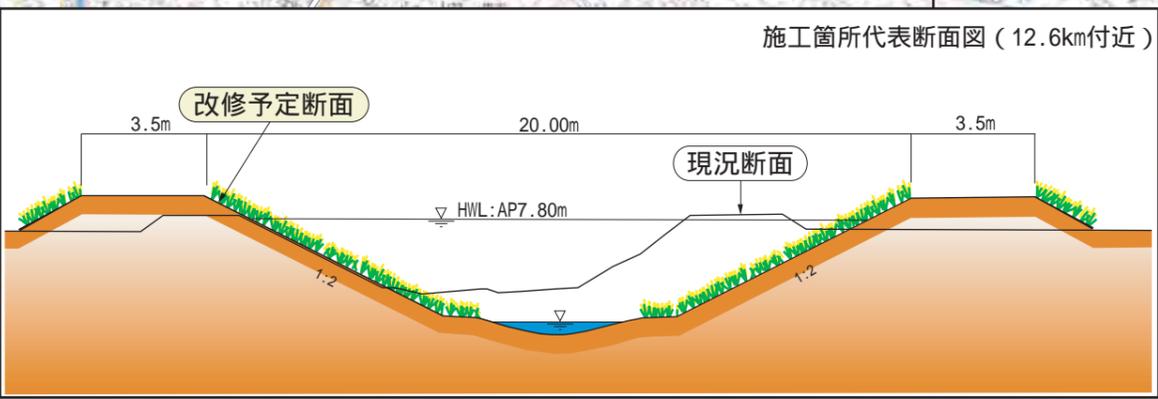
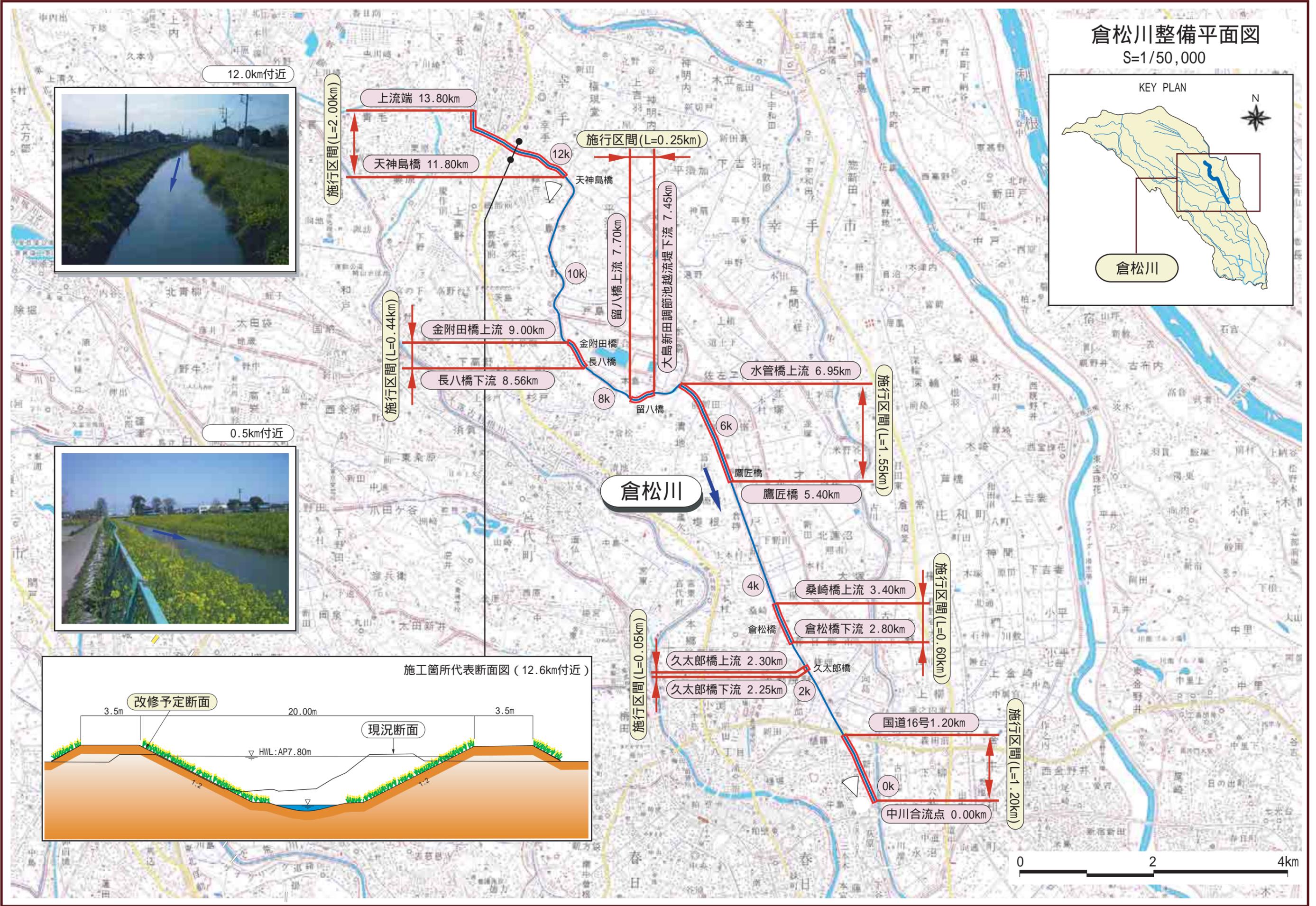
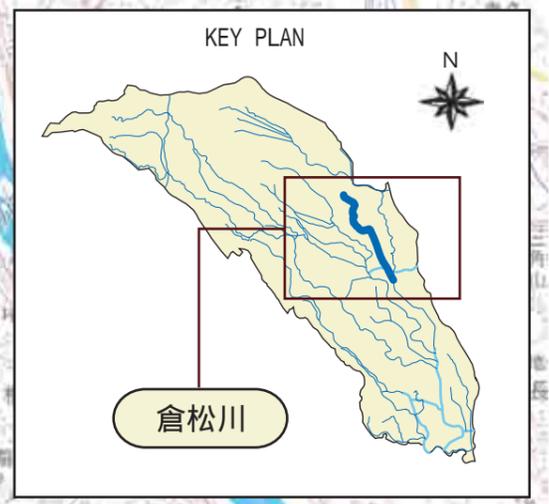
倉松川3km 付近



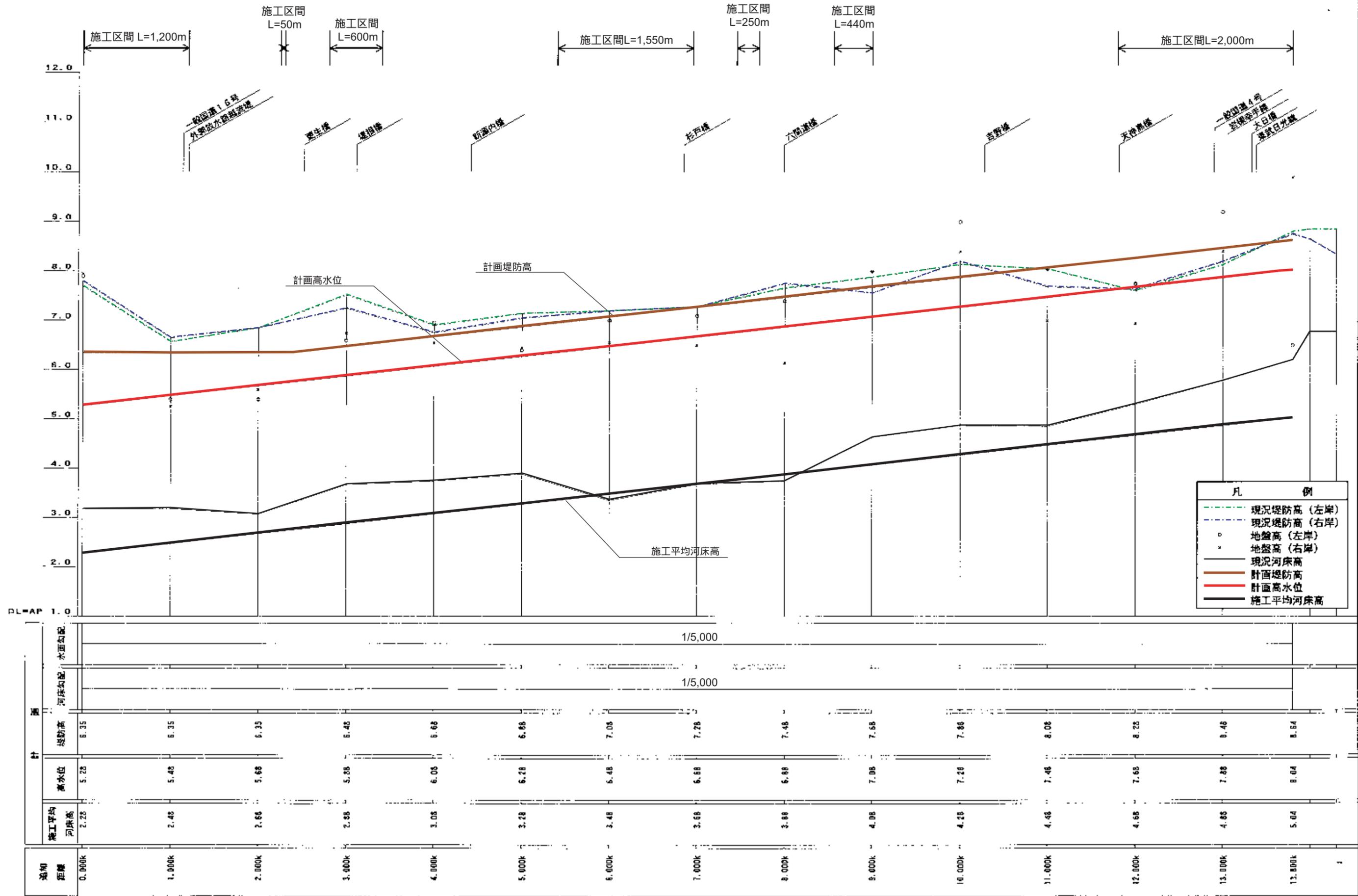
倉松川8km 付近



倉松川整備平面図 S=1/50,000



倉松川計画縦断面図



うまのほりがわ

午の堀川・整備計画概要

流域面積 15.11 km²
 流路延長 7.400 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/2,000
 関係市町村 羽生市、加須市、大利根町

流域および河川の概要

- ・午の堀川は、埼玉県羽生市にその源を発し、中川70.3 km 付近の右岸に流入する一級河川である。
- ・流域は、手子堀川と中川の支川である会の川に挟まれた、紡錘形状をしており、上・下流部の広さが1.0km、中流部が2km程度となっており、流域の大半が沖積低平地で占められている。流向は本川中川にほぼ平行して流れ、地勢は緩く東南に傾斜し、平均地勢勾配は約1/2,000程度である。
- ・流域は2市1町により構成され、流域の大半は低平地な水田として利用されている。

治水計画

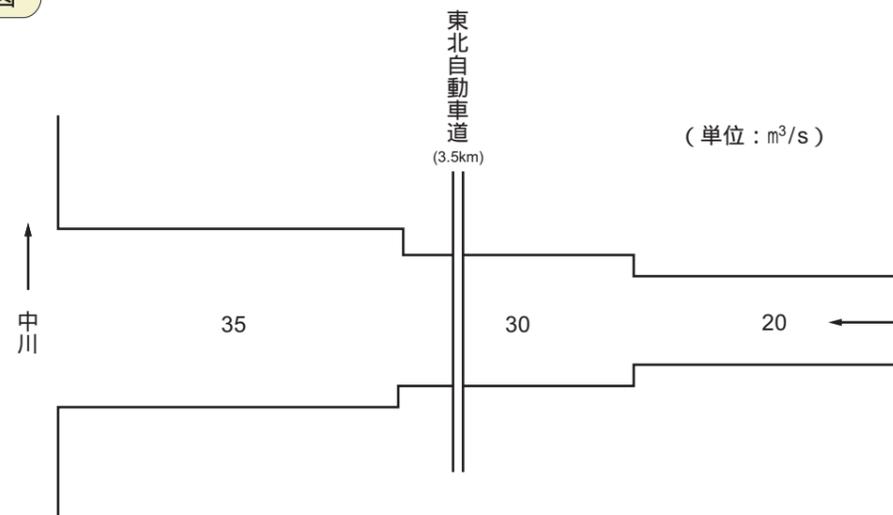
- ・午の堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00 km) ~ (上流端7.40 km) A



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。

流量配分図



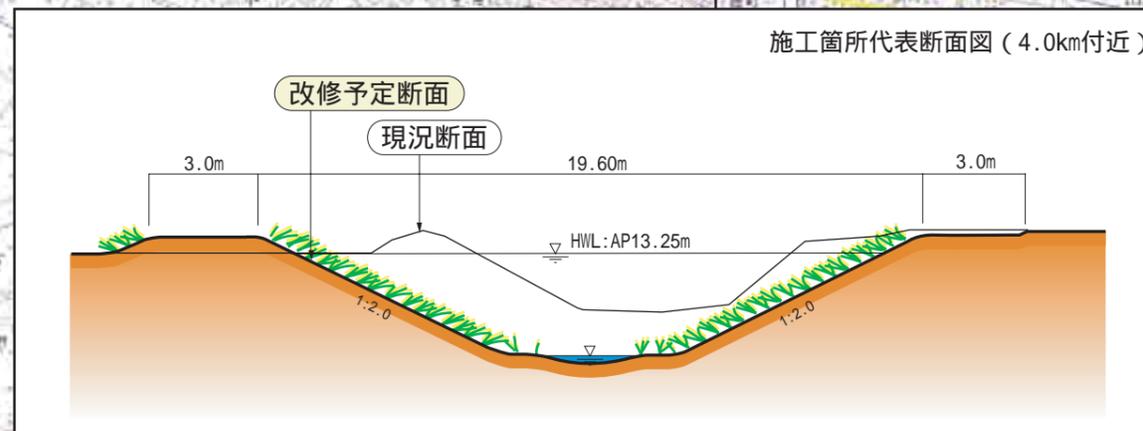
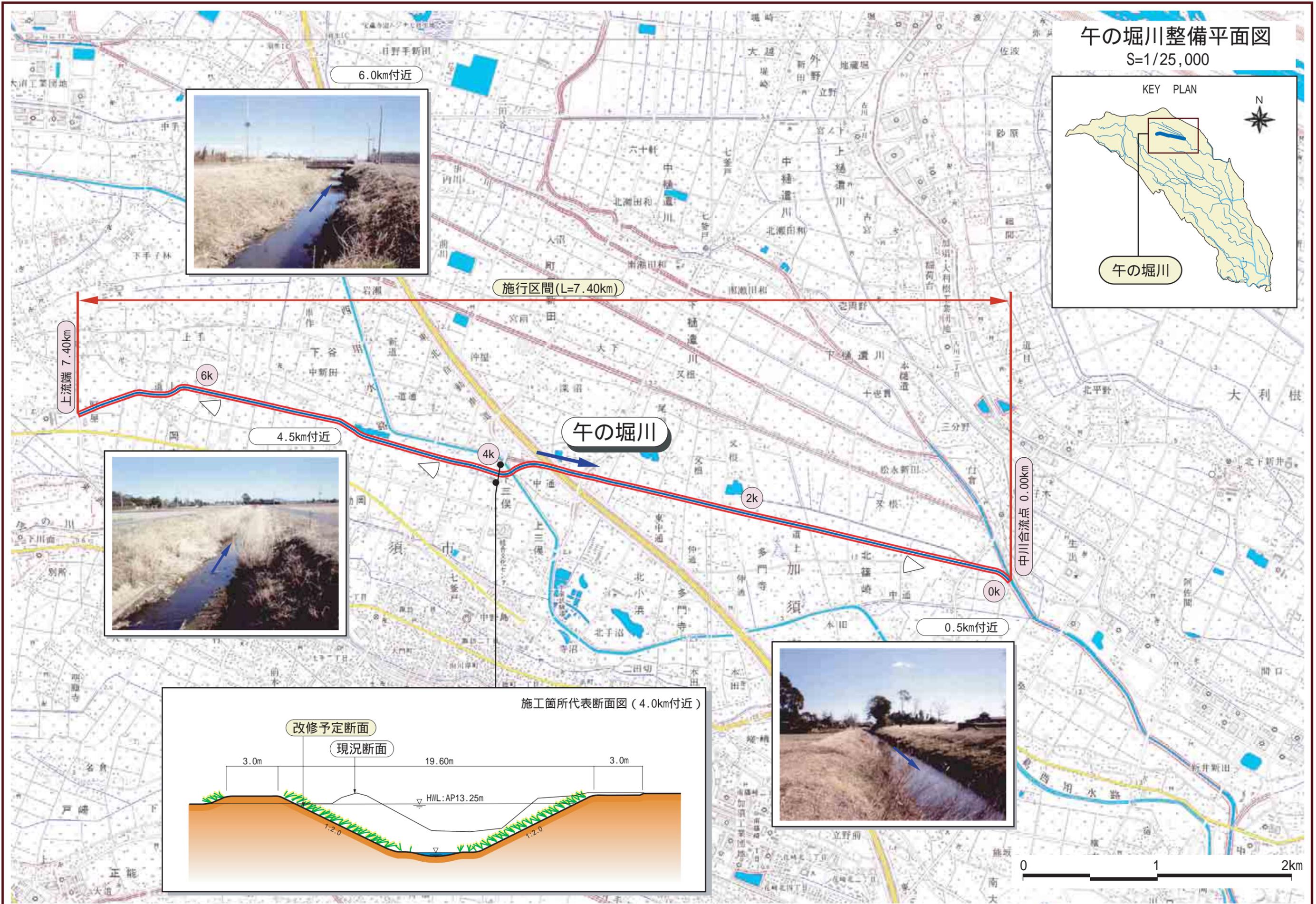
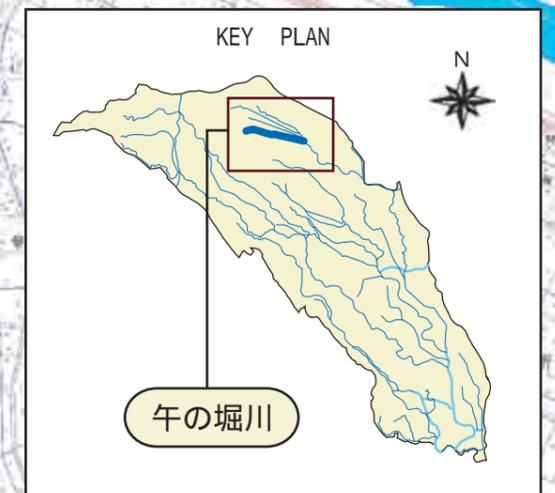
午の堀川1km 付近



午の堀川5km 付近

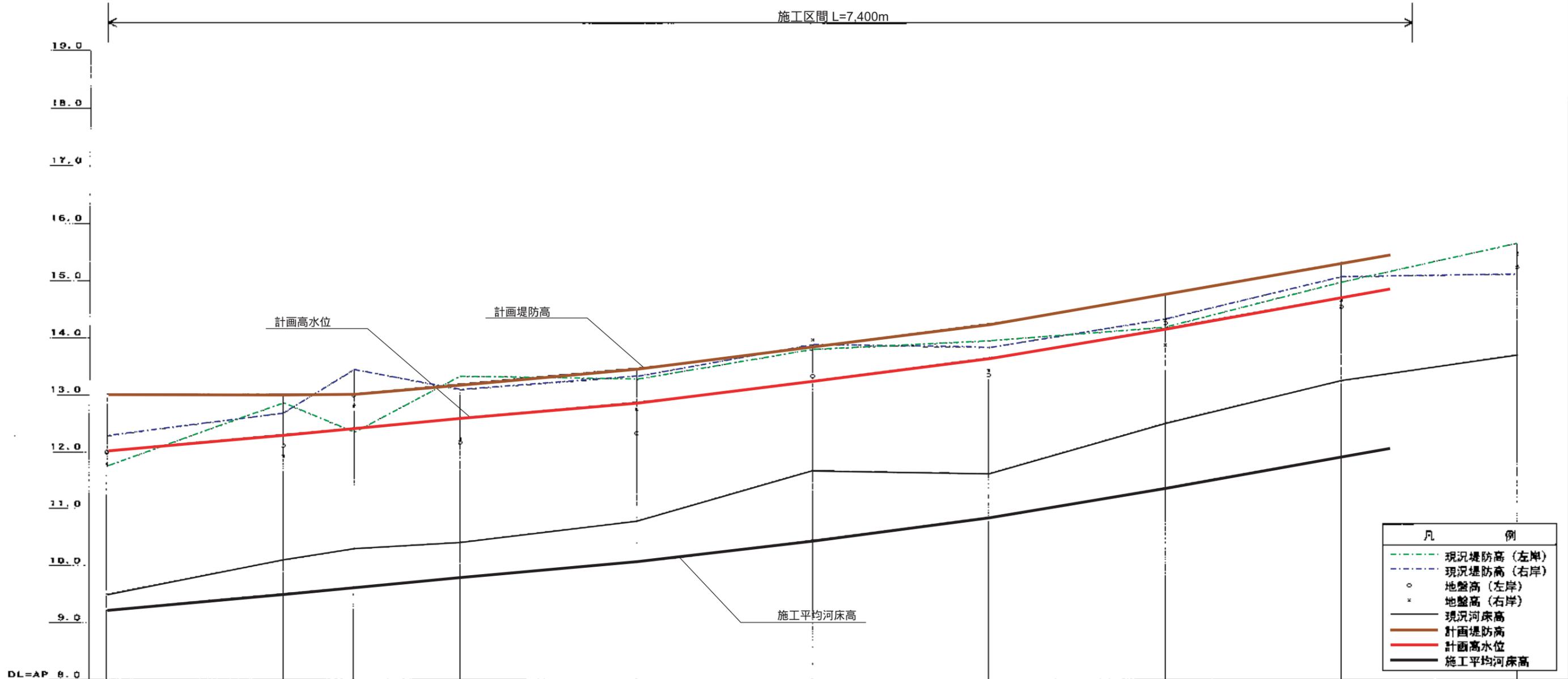


午の堀川整備平面図
S=1/25,000



午の堀川計画縦断面図

施工区間 L=7,400m



凡 例	
---○---	現況堤防高 (左岸)
---×---	現況堤防高 (右岸)
○	地盤高 (左岸)
×	地盤高 (右岸)
—	現況河床高
—	計画堤防高
—	計画高水位
—	施工平均河床高

計画	施工平均河床高	高水位	堤防高	断面勾配	
				河床勾配	水面勾配
0.000k	9.22	12.02	13.02	1/3,500	1/3,500
1.000k	9.51	12.31	13.02		
1.400k	9.82	12.42	13.02		
2.000k	9.79	12.59	13.19		
3.000k	10.08	12.88	13.48		
3.237k	10.15	12.95	13.55		
4.000k	10.45	13.25	13.85	1/2,500	1/2,500
5.000k	10.85	13.65	14.25		
5.150k	10.91	13.71	14.31		
6.000k	11.38	14.18	14.78	1/1,800	1/1,800
7.000k	11.94	14.74	15.34		
7.273k	12.06	14.86	15.46		

てごほりがわ

手子堀川・整備計画概要

流域面積 6.61 km²
 流路延長 6.400 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/2,000
 関係市町村 羽生市、加須市

流域および河川の概要

- ・手子堀川は、埼玉県羽生市にその源を発し、中川70.9 km付近の右岸に流入する一級河川である。
- ・流域は中川と午の堀川に挟まれた細長い形状をしており、大半が沖積低地で占められ、多くが水田として利用されている。

治水計画

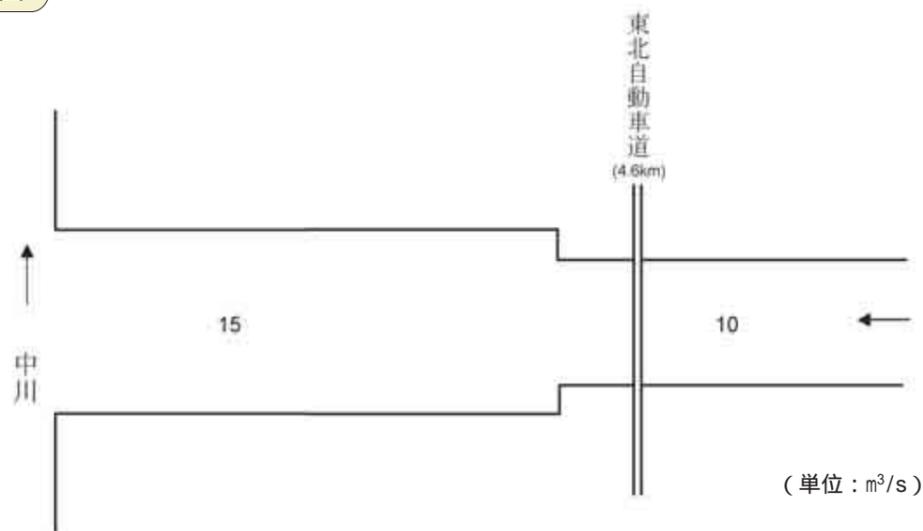
- ・手子堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00 km) ~ (上流端6.40 km) A



整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努めるほか、人々が自然とふれあい、環境と共生できる良好な水辺空間の確保に努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。
- ・落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造とするよう努める。

流量配分図



手子堀川2km 付近

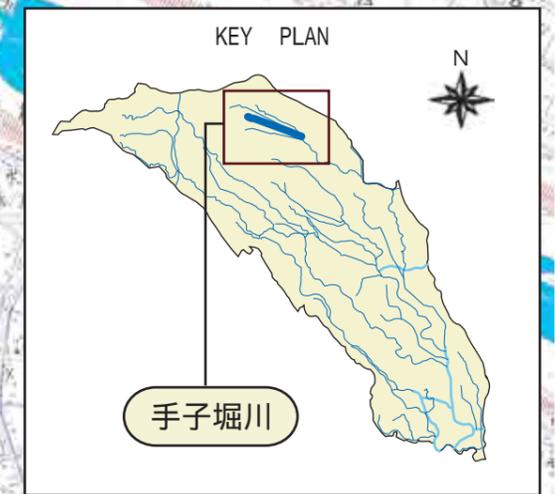


手子堀川4km 付近



手子堀川整備平面図

S=1/25,000



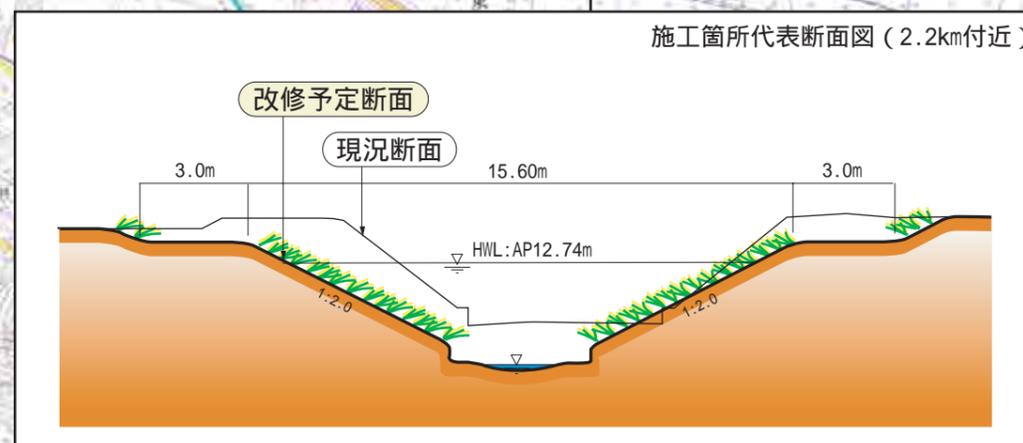
施行区間(L=6.40km)

上流端 6.40km

2.0km付近

6.0km付近

手子堀川

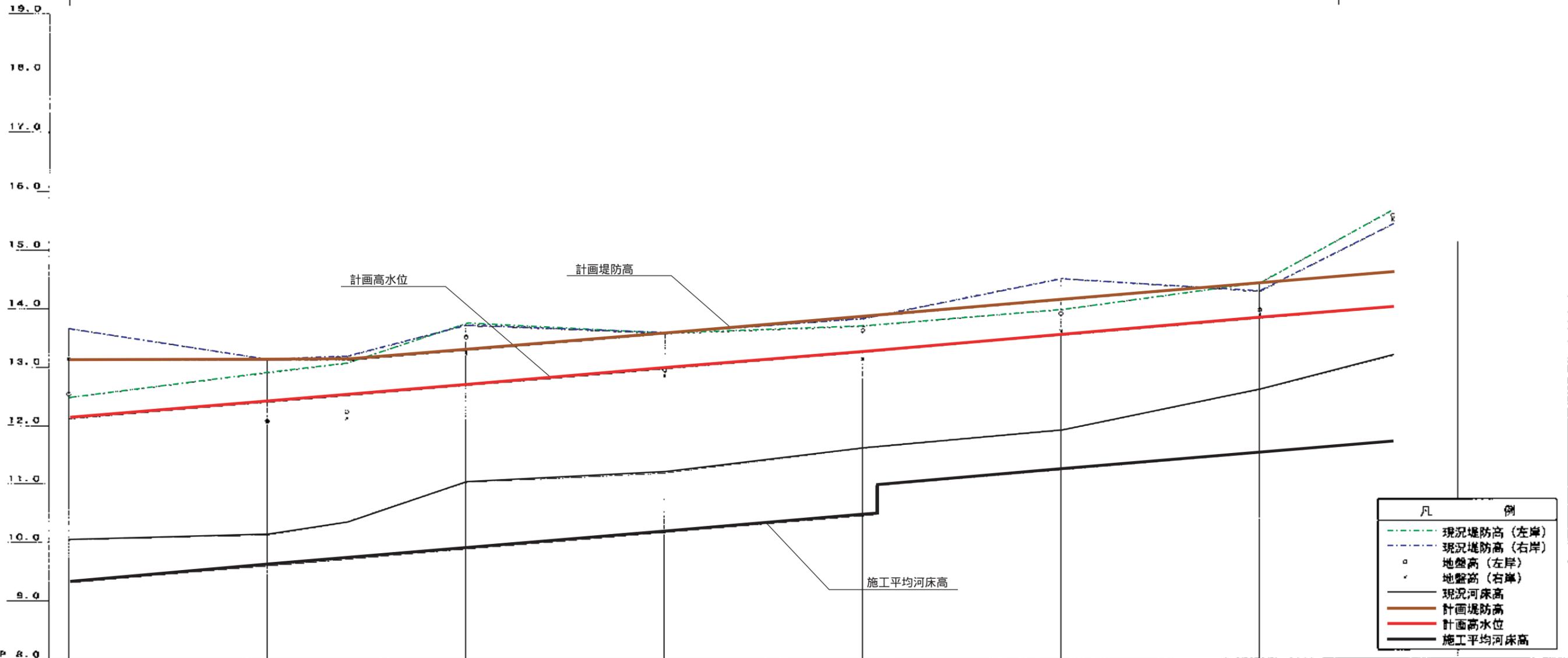


中川合流点 0.00km

0 1 2km

手子堀川計画縦断面図

施工区間 L=6,400m



DL=AP 8.0

測点 距離	計画		現況	
	高水位	堤防高	河床高	水面勾配
0.000k	12.12	13.12	9.32	1/3,500
1.000k	12.40	13.12	9.60	1/3,500
1.400k		13.12		
2.000k	12.69	13.29	9.89	
3.000k	12.97	13.57	10.17	
4.000k	13.26	13.86	10.46	
4.066k	13.28	13.88	10.48 (10.98)	
5.000k	13.55	14.15	11.25	
6.000k	13.83	14.43	11.53	
6.673k	14.02	14.62	11.72	
7.000k	14.12	14.72	11.82	

しんさいかちほりがわ

新槐堀川・整備計画概要

流域面積 24.30 km²
 流路延長 6.300 km
 合流河川 中川
 現況河床勾配 1/4,000
 関係市町村 羽生市、加須市

流域および河川の概要

- ・新槐堀川は、埼玉県羽生市にその源を發し、途中旧槐堀川を合流し、中川71.5km付近の右岸に合流する一級河川である。
- ・流域は利根川と本川に挟まれた長方形をしており、大半が沖積低地で占められ、多くが水田として利用されている。

治水計画

- ・新槐堀川では、整備目標流量を安全に流下させるため、下記の区間において、現況の河道法線を基本として、河床を下げるとともに、河道の拡幅及び築堤により河積の拡大を図る。
 <整備予定区間> (中川合流点0.00 km) ~ (上流端6.30 km) A

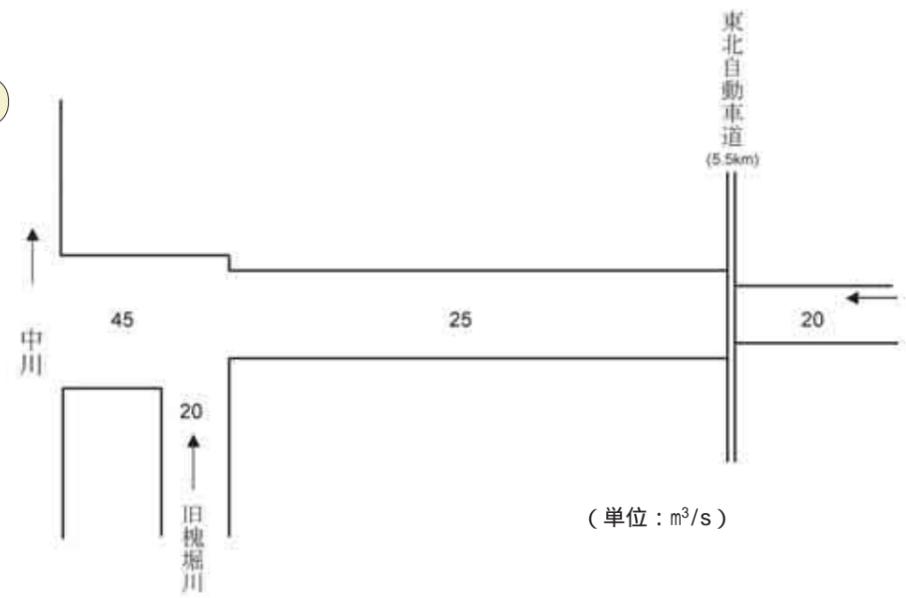


整備上の留意点

- ・護岸整備にあたっては、水辺に生物が生息しやすい木材や石などの自然素材を利用するなど、自然にやさしい水辺づくりに努める。
- ・河床掘削においては、既存の淵・みお筋を極力活かした整備を行うよう努める。



流量配分図



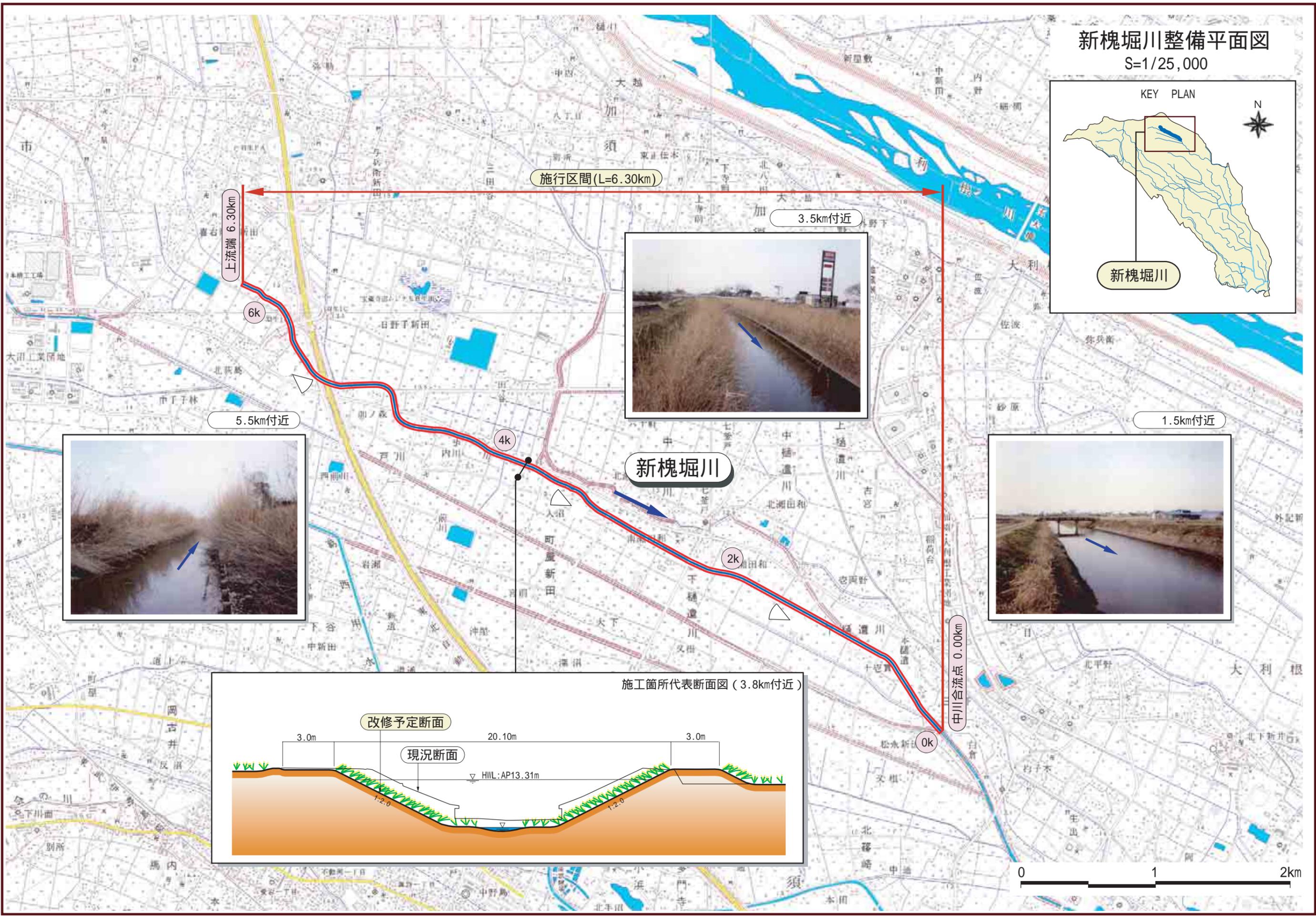
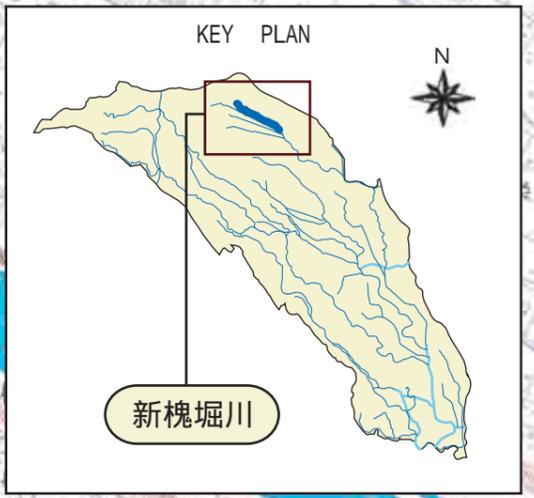
新槐堀川1km 付近



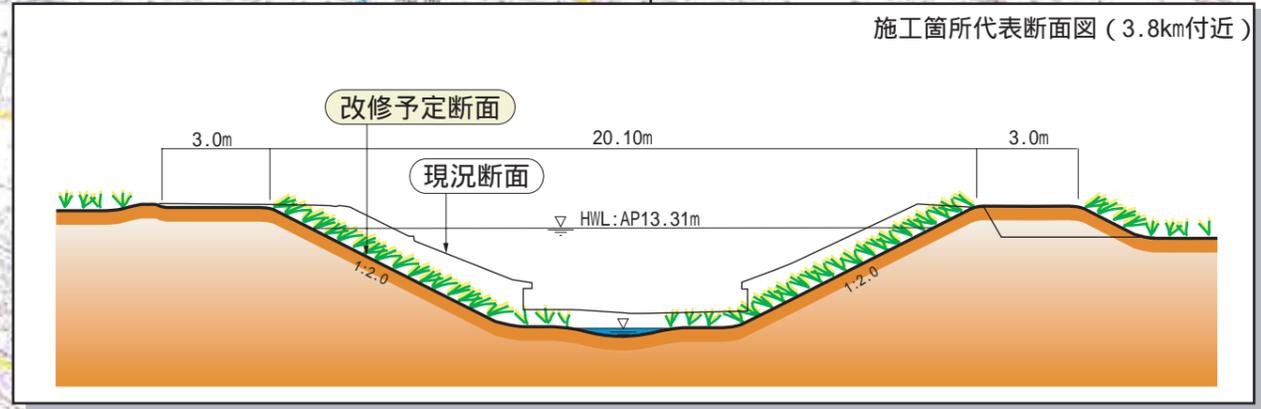
新槐堀川4km 付近



新槐堀川整備平面図
S=1/25,000



施工箇所代表断面図 (3.8km付近)



新槐堀川計画縦断面図

施工区間 L=6,300m

